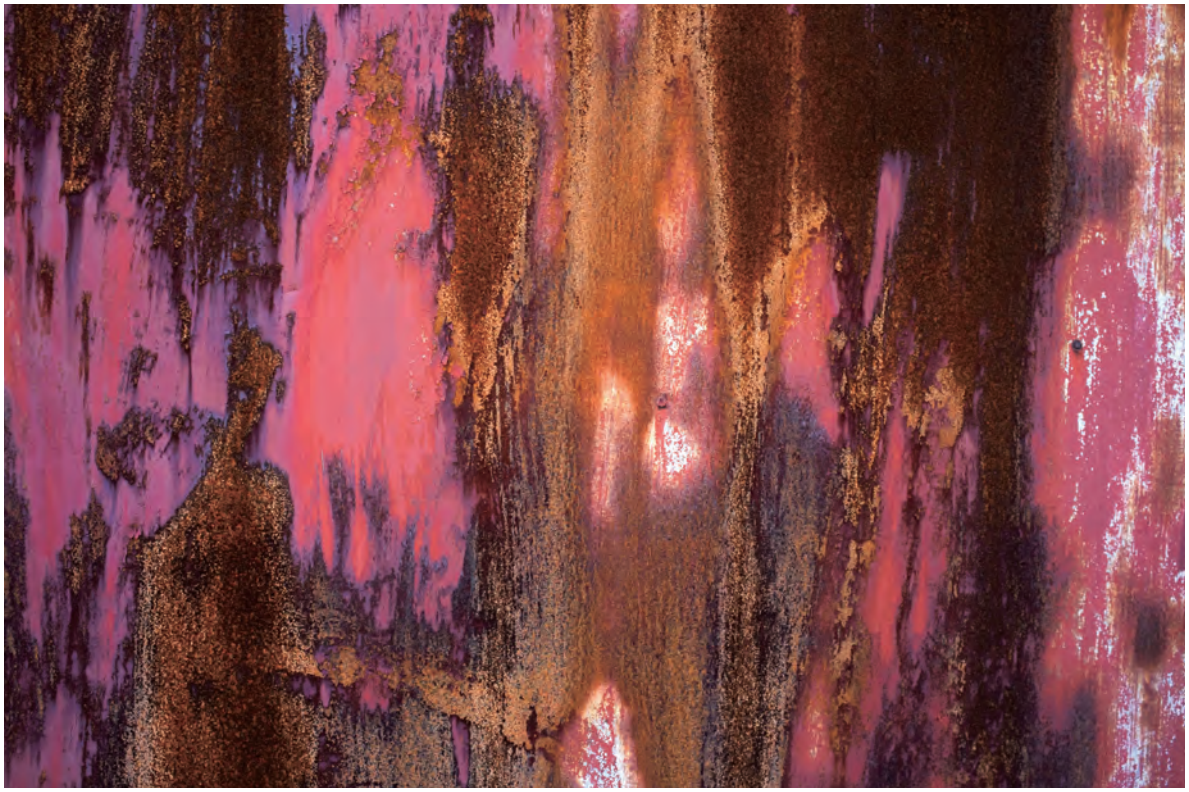
北中連だより

2019年
新　春　号
No. 129



四宮　佑次　『時の肖像#07』

一般社団法人　北九州中小企業団体連合会
http://www.hokuchu.or.jp/

30年度　北中連役員名簿

平成30年12月1日

役職名	氏　名	組合名
会　長	自見　榮祐	響工業団地（協）
副会長	池田　幹友	北九州塗装（協）
〃	安心院　武彦	小倉機器工業（協）
〃	梯　輝元	魚町商店街（振）
〃	富澤　善和	新日本設備工業（協）
〃	安田　敏剛	北九州工業団地（協）
常任理事	岩男　平八郎	萩原・青山商店街（協）
〃	樋口　和宏	八幡電気工事業（協）
〃	西竹　浩一	戸畑新工業団地（協）
理　事	白石　春利	（協）テクノタウン戸畑
〃	岡住　奏	（協）安協会
〃	髙木　壽則	天神商店街（振）
〃	竹原　健次	戸畑貨物センター（協）
〃	井澤　元博	魚町一丁目商店街（振）
〃	月形　孝司	北九州市防水工事業（協）
〃	渡辺　敏也	北九州ビルメンテナンス（協）
〃	井上　弘	小倉中央銀座商店街（協）
〃	鍋屋　秀一	小倉鉄工団地（協）
〃	黒瀬　剛	中間市建設（協）
〃	井上　和秀	（株）井上産商

監　事	杉岡　密雄	小倉駅前商店街（協）
〃	山岡　義昭	東小倉工業団地（協）
〃	桝谷　省吾	小倉魚町二番街（協）

北中連だより

Contents

2019 New Year　No.129　目次

掲載ページ

年頭のご挨拶

1　(一社)北中連会長　自見 榮祐

2～6　北九州市長へ「要望書」を提出

7～9　福岡県知事へ「要望書」を提出

10　北中連　理事会・正副会長会

11　北中連　工業部会・商業部会

12　北中連　サービス業その他業種部会・建設関連部会

13　北中連　金融税制委員会・中小企業団体全国大会

14　福岡県地域経済懇談会

掲載ページ

15～23　先進企業視察（岡山県）
福機連北九州支部

・株式会社 英田エンジニアリング

・株式会社 アステア

24　通常総会・卓話会・交流会
福機連北九州支部

25　北中連からのお願い

26～31　北九州市からのお知らせ

◇ 中小企業課からのお知らせ

◇ 雇用政策課からのお知らせ

◇ 女性活躍推進課からのお知らせ

32　表紙解説（四宮佑次氏）

33　北中連日誌

34～36　会員名簿

37～45　協賛広告

46　会員加入のご案内

表紙絵
四宮　佑次
「時の肖像＃07」

裏表紙絵
四宮　佑次
「マグリットに捧ぐ#01」

年頭のご挨拶

（一社）北九州中小企業団体連合会
会長　自　見　榮　祐

今年の新年は４か月後に迎える平成の終わりの年でもあります。平成30年間の総括は様々になされましたが、まさに歴史に時代を画する30年でありました。新しい御世がどのように幕開けするのか、楽しみでもあり、不安でもある、というのが大方の日本人の感覚でしょうか。平成の30年は戦後の昭和が築いた遺産を食いつぶしたとも、世界的な激動の時代を何とか平和裏に、そして度重なる自然災害も何とか乗り切りつつある、ということも出来ます。10年ひと昔、という感覚が１年ひと昔的なスピードで進む世界でもありますし今現在日本で生活している老若男女が、共に同時代を生きている、という感覚を持ち合わせているのか、も不確かなところがあります。平成卒の登場に驚いたのがついこの前ですが、今や平成生まれが30男、30女ですからね！老兵は早く消えてあげないと、という強迫感にも苛まれます。と同時に私たち世代の、食べるものがない着るものがない、という時代に育って身に付いた生命力、価値観が日本人という帰属意識の培養には良かったのかな、と思うこともあります。

ところで我が街北九州は今、どうなのでしょうか？明治維新以来の殖産興業の波に乗って日本を代表する工業都市として発展してきましたが、モノからコトへの時代の波の中で若干の埋没感もあります。しかし、これはある種の踊り場にありむしろ余力を蓄えて次の飛躍に備えているのだと思います。街中の人混み特に日が暮れてからなど東京や博多に比べて淋しいという意見もありますが、住民の暮らしやすさから言えばむしろ落ち着いた環境で何の不自由もないとも言えます。１月10日の日経新聞１面にサステーナブルな都市ランキング調査で北九州市は京都市に次いで２位と報じられました！

小倉藩が長州に攻められて城に火をかけ豊津にまで退いたとか製鉄所の企業城下町とか言われた時代も、製鉄産業としては世界トップの実力を保持したまま、上手に街のリーダーの役割分担を進めてきたとか、特定の権威権力が永続してないということもプラスに作用したのではないでしょうか。第２次世界大戦でコテンパンに負けて、全くのゼロベースからスタートしたおかげで、戦勝国側より早いスピードで復興復活したことに通じます。

北九州が発展した歴史を振り返れば、鉄道、船舶の時代は国内外の圧倒的な物流の要衝にあったからで、航空機の登場で一時的にその座を奪われましたが、今や再び、高速大量輸送の必要性から地政学的にも北九州の魅力は急速に見直されつつあります。石炭産業や鉄鋼業を支えるために、西日本一円から労働者が流入してあっという間に百万都市を形成した時代は活力と言えば活力ですが、暮らし向きからは必ずしも良いことばかりではなかったはずです。

今は斜面の上まで住宅が這い登った時代から崖崩れの脅威から守る意味も含めて、市街地への住宅の再編に手が付けられようとしています。住環境からもそのような手が打てるということは人口減少による衰退ではなく、まさにサステーナブルな価値観での対応が可能な街ということでしょう。テレビの人体シリーズを見るにつけ、昔は脳がすべての情報発信をしているというのが常識でしたが、今は各臓器各細胞がそれぞれ独自に情報発信している事実が解明されています。中小企業は国を支える一つ一つの細胞です。健康な細胞が相互に緊密なネットワークを作れば、脳からの特別な指令がなくとも全体としての健康体を維持できるのではないでしょうか？何が起こるか分からない時代、中小企業の自律性が肝要です。

北九州市長へ「要望書」を提出

平成30年11月22日（木）、自見会長を始め池田、安心院、梯、安田の各副会長が市庁舎を訪問して、北橋市長に「平成31年度北九州市中小企業対策に関する要望」を手交しました。

この要望書は、北中連の４部会（工業、商業、建設関連、サービス業その他）、２委員会（金融税制、情報）において提案された要望、意見を集約し、正副会長会及び理事会で検討を加えて作成、承認されたものです。

当日は、北橋市長を始め加茂野産業経済局長、岩見新成長戦略推進部長、本島中小企業振興課長の出席の下、要望書の掲載順に、東九州自動車道の早期4車線化、観光客の誘致強化、電力の安定供給、コレットや井筒屋黒崎店閉店後の活性化策、イオンモールの出店対応、河川はん濫対策の改修工事の実施、建設工事に係る提出書類の簡素化、事業所税の免税点の拡大、人材確保への支援、外国人雇用相談窓口の設置などについて説明を行いました。

なお、要望事項は９分野41項目で、次のとおりです。

平成31年度北九州市に対する
中小企業対策に関する要望

［景気対策］

1　市内事業所の99％、従業員数の約８割を占める中小企業は、本市経済の発展と活力の源である。市においては「北九州市中小企業振興条例」の基本理念に則り、産業振興計画である「北九州市新成長戦略」の中で「地域企業が元気に活動しつづける環境整備」を謳い、種々の施策を実施しているが、さらに、中小企業が安心して事業が継続できるよう、金融、税制などを含めた総合的な中小企業施策の実施と予算の確保を行っていただきたい。

また、国に対して、早急かつ的確な景気対策と税制改革を実行すべく、積極的に働きかけていただきたい。

［地域振興対策］

2　北九州空港は、「拡大支援型」の訪日誘客支援空港に認定されている。認定による支援期間中に、24時間空港等のポテンシャルを活かした、国際線・国内線の更なる誘致、LCCや国際線誘致のためのターミナルビル機能の充実、滑走路延伸（3,000m化）、時間帯を考慮した路線の新設などを推進していただきたい。

また、福岡県道245号新北九州空港線の交差点２箇所が立体化されるなどの改良が進められており、北九州空港へのアクセスも良くなることから、併せて福岡都心部と結ぶリムジンバスや北九州空港

エアポートバスの増便を交通事業者に働きかけていただきたい。さらには、軌道系交通手段の調査着手など、利用客の利便性の向上について、福岡空港と一体化した整備を福岡県と連携して推進していただきたい。

3　北九州港におけるクルーズ船寄港による乗客が10万人を超える勢いと聴く。国土交通省の「官民連携による国際クルーズ拠点」指定を目指すなど、クルーズ客船寄港の誘致を積極的に行うとともに、ひびきコンテナターミナルや門司港をまた来たいと言われるような港を目指して、ターミナルビルの整備など港湾施設や環境の整備を実施していただきたい。

4　東九州自動車道は、東九州地域はもとより、九州全体の産業や経済の一体的な発展に寄与するものであり、また、災害時には緊急輸送路として極めて重要な道路となっている。しかし、ほとんどが片側１車線のため、安全な通行や事故の際の緊急対応が懸念される。また、費用対効果の考え方を取り入れ、オリンピック・パラリンピックで観光客の増加が見込まれる2020年までに、関係機関と連携し、北九州と大分県内まで早急に４車線化が実現するよう推進していただきたい。

5　観光産業の振興を図るため、本市の世界遺産などの観光資源を生かすことは言うに及ばず、関門地域、北九州・京築、北九州・筑豊といった観光ルートづくりに取り組むことにより魅力アップを図り、周辺市町村を巻き込んで連携して観光資源の魅力を国内外の観光客へ発信することにより、観光客の増加と本市での消費拡大につなげていただきたい。

6　「産業観光」は、ものづくりの街である本市の特徴を表した事業である。官民一体となって、現在TOTO、安川電機、シャボン玉石けんなど約50の工場見学が可能であるが、引き続き、特徴ある中小企業の発掘に努め、修学旅行をターゲットにした誘致活動などで本市の特性を活かした観光振興を図るとともに、本市のイメージアップと広報に努めていただきたい。

7　ギラヴァンツ北九州は、市内に存在するプロスポーツチームであり、そのテーマは「スポーツで北九州を元気に」である。しかしながら、現在ギラヴァンツ北九州はＪ３の下位に甘んじている。市としてもギラヴァンツ北九州への支援を拡充するとともに地域商店街と連携し選手と市民とが身近に交流できるような事業を推進するよう指導していただきたい。

［工業振興対策］

8　関東、関西、中部地区で開催される全国規模の展示会等への出展は、北九州市の知名度向上を図るとともに、技術力や製品力を有する市内の中小企業が域外に保有する技術や製品を紹介し、販路開拓を図る上で有効な手段となっている。引き続き、各地で開催される大規模展示会への出展助成を充実して実施していただきたい。

9　市内の工業団地は、ものづくり産業の中核であるというだけでなく、工場景観として地域の顔ともなっている。さらに、近年は産業観光の振興により海外を含めて来客も多く訪れているので、工業団地内だけでなく、アクセス道路等を含めた工業団地周辺の環境整備を行っていただきたい。

10　製造業における電気料金の値上げは、製造コストの大幅な増加となり、中小企業の経営を圧迫する。また、自然災害に伴うブラックアウト等の停電は中小企業にとって死活問題である。良質で廉価な電力の安定供給が保持されるよう、電力事業者に積極的に働きかけていただきたい。

11　平成31年10月1日から消費税率が10％に引き上げられるが、中小・零細企業が消費税を価格へ転嫁しやすい環境が損なわれ、増税のしわ寄せを中小・零細企業が被ることがないよう、消費税の転嫁拒否等の行為に対して実効性のある監視・取締りが徹底されるよう、国に対して要請していただきたい。

［商業振興対策］

12　コレット井筒屋及び井筒屋黒崎店は、それぞれ店舗を撤退する旨を発表した。これは、北九州市の将来にわたる人口減少・少子高齢化による消費低迷が主たる

原因である。人口減少・少子高齢化、特に生産年齢人口の減少に適切に対応するとともにJR小倉・黒崎駅前の活性化を促すようなテナント誘致や事業の取り組みを進めていただきたい。

13　八幡東区に出店するイオンモールは、北九州市内の商業施設、地域商店街にとって強大な脅威となるばかりか、これ以上の商業床の増設は低迷する消費の奪い合いになることは明白である。市からイオンモールに対して、お互いウィンウィンの関係になるように広域集客につながる観光拠点の建設と地域商店街と連携した回遊性の向上となる施策及び地域貢献策を講じるよう要請していただきたい。

14　リノベーションスクールは、北九州市がその発祥の地であり、中心市街地の再生に多大な効果をもたらすことから、今では全国40ヶ所以上に広まっている。しかしながら、市ではこの事業を今年３月に終了し、その後は実施していない。小倉地区以外での開催を含め、リノベーションによるまちづくりを推進するため、リノベーションスクールを再開していただきたい。

15　まちづくりの新たなに担い手として行政の補完的機能を担う都市再生推進法人は、都市再生特別措置法に基づき市町村長が指定するものである。都市再生整備計画の提案や公共空間の活用などが可能になる都市再生推進法人の指定については、積極的かつ早急に実施していただきたい。

16　旧小倉ホテル跡地の活用について、誰でも容易に使える施設にするため、地域団体を中心とする民間団体に管理を委託するとともに、天候に左右されることなくイベント等が開催され、市民が心地よく利用できるよう天蓋などの設置や芝生の整備などを行っていただきたい。

17　小倉中心市街地は、「小倉都心小売商業振興特別用途地区」の指定により、小売商業を中心とした地域として整備していくことが定められている。安全で魅力ある市街地形成のため、この地区にキャバクラのような施設が新たに立地できないように規制していただきたい。また、ゲームセンター等の範疇にあるｅスポーツ施設については、小売商業の振興に寄与すると認められるものは立地が可能となるよう規制緩和を行っていただきたい。

18　プレミアム付商品券発行支援事業は、商店街にとって非常に有益な事業なので、福岡県とも連携して引き続き予算の確保と支援を拡充していただきたい。

19　小倉駅前を中心とする飲食店の客引きは、一般通行者の迷惑になるばかりか、観光客にとっては暴力団追放に成功しつつある北九州市のイメージダウンになる。福岡県警とも連携して改善に努めていただきたい。

20　小売業・サービス業を中心とする中小企業者の生産性向上は、その発展を遂げるための重要な課題である。生産性向上の一方法であるキャッシュレス化を進めるためのスマホ決済の導入促進を図るとともに、導入に伴うバックオフィスのIT化を助成・支援していただきたい。

21　外国人観光客にとって小倉城は、重要なコンテンツであり、小倉城及びその周辺の整備が行われ観光客は増加しているが、これらの観光客を周辺商業施設や商店街に誘導できるような回遊性を高める施策を実施していただきたい。

22　商店街が地域の活性化や顧客の利便性向上のために実施する各種イベントの道路占用許可について、規制緩和を図るとともに福岡県警とも連携して申請事務手続きの簡素化、迅速化、占用料の低減化などを図っていただきたい。

［受注対策］

23　異常気象の影響によるものか、近年の集中豪雨はゲリラ豪雨などとも呼ばれる

ような局地的に短時間に大量の雨が降るなど、これまで予想もされなかった降り方をしている。河川はん濫による被害は甚大となるため、河川の安全点検を強化するとともに、計画的・継続的に補強・改修工事を実施していただきたい。

24　中小建設業において、残業時間の削減や週休２日制の導入、寒暑対策等など政府が推進する働き方改革に対応するため、工事の積算は工期、人件費、諸経費を十分に考慮して行っていただきたい。

　また、自然災害による資材調達の遅れや異常気象による熱中症対策等に対応するため、工期の延長に柔軟に対応していただきたい。さらに、夏場・冬場の異常気象に対応するため、季節に応じた人件費の割り増しを実施していただきたい。

25「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」に則り、官公需適格組合を始めとする事業協同組合等の受注機会の増大を図るとともに、引き続き、窓口の契約担当者に周知徹底していただきたい。

26　中小の建設業者にとって、工事請負契約における提出書類や工事写真などの提出物の負担は看過できない状態であることから、提出書類等の簡素化に取り組んでいただきたい。

［金融税制対策］

27　生産性向上を目指す中小企業を支援するための固定資産税ゼロ特例事業の期間は３年間となっているが、より積極的な設備投資を促すため、５年間に延長できるよう、国に積極的に働きかけていただきたい。

28　事業所税における資産割の免税点を1,000㎡から3,000㎡に、従業者割を100人から200人に引き上げるか、若しくは中小企業には免除措置を行っていただきたい。

29　地域経済を支える中小企業等に対して行われている法人税率の軽減特例（19%→15%）は、30年度末までとなっている。中小企業の経営基盤安定・強化のため、更に、税率を引き下げたり、期間を延長するよう、国に積極的に働きかけていただきたい。

30　資本金や従業員数等などをベースとして課税する外形標準課税は、地域経済や雇用を支える中小企業にとっては、大変な負担増となり企業経営への影響も大きいので、中小企業への適用拡大を行わないよう国に強く働きかけていただきたい。

［労働対策］

31　市内の有効求人倍率は本年７月には1.51倍をとなり、人手不足は解消するどころか、より一層厳しさを増している。人材確保の実態調査においても、多くの中小企業が公的機関や求人誌を通じて求人しても応募者がいないなどと訴えており、人材の確保に苦慮している。引き続き、中小企業を直接訪問して、経営者などの生の声を聴取する実態調査を行い、人材確保のための支援策を立案、実施していただきたい。

32　景気が回復傾向にあるため、中小企業の人材確保はますます厳しい状況に置かれている。市では、地元中小企業への理解を深め、新卒者や若年者が地元の中小企業に就職したくなるような様々な施策を実施している。これらのきめ細かな施策の実施とともに、これらの取組みの広報・周知を図って、地元中小企業の人材確保を支援していただきたい。

33　我が国のものづくり中小企業の優れた技術・技能は、我が国産業の国際競争力の強化に貢献するとともに、新製品・新技術開発や新たな産業を創出する基盤ともなっている。市内のものづくり中小企業の技術技能、ノウハウが衰退することなく円滑に技術継承が図られるような人材育成の支援策を継続実施していただきたい。

34　中小企業における人手不足は深刻で、定年年齢を引き上げるなどしているが、根本的な解消策とはならず、外国人の就労を検討せざるを得ない状況である。そこで、外国人労働者・留学生の就業を推進するために外国人労働者・留学生に対する中小零細企業の就業情報の告知や在留資格に基づく就業条件ルールの周知などを推進するとともに外国人労働者の雇用に関する相談窓口を設置していただきたい。また、外国人労働者の生活支援など受け入れ環境を整えるために日本語教

育の充実や住宅確保、医療・福祉などの相談体制の整備などを国に働きかけていただきたい。

35　北九州地域の大学生の地元への就職率を向上させるためCOC＋事業として「北九州・下関まなびとぴあ」が設立され、その活動拠点として、魚町商店街内に「まなびとJOBステーション」が開設された。域内の大学生の地元への就職率を高めるための活動を支援していただきたい。

36　近年の異常気象による災害は特異なことではなく常態化することが予想され、今後は建設工事が重要になってくる。しかし、建設業界には現場監督者をはじめ作業員等の人材不足は深刻で、仕事はあっても受注できない状況となっている。近年発生している災害の早期復旧や今後発生する恐れのある災害に早急に対応できるようにするため、建設業従事者の人材の確保と育成を支援していただきたい。

［環境対策］

37　近年の異常気象は我が国のみならず世界の多くの国々に影響を与えており、その原因の一つと考えられる地球温暖化にも強い関心が寄せられている。市は、環境にやさしい街づくりのため、究極のクリーンエネルギーとして注目されている水素社会の創造に取り組んでいる。自動車の分野では、商用水素ステーションが２箇所設置されているが、自動車分野をはじめ水素エネルギー活用の動機付けや普及促進を図るとともに、特に、水素関連産業を育成していただきたい。

38　エコアクション21認証取得は、中小企業にとって、環境対策への取組みを評価されるだけでなく、事業の効率化、省エネルギーなどの経営改善にも貢献するものである。現在行なっている無料セミナーの開催や優遇策などについては、引続き積極的な広報と更なる支援策を講じていただきたい。

39　市は響灘洋上風力発電施設の設置について、九州電力子会社、西部瓦斯などの５社で構成される「ひびきウインドエナジー」を事業者に選定した。洋上風力産業の裾野は広く、製造業のみならず、輸送業、海洋産業、セキュリティ産業など多岐の分野に渡っている。事業に対応できるような地場企業の育成や地場中小企業の事業への参画を図っていただきたい。

40　市は、2015年９月の国連サミットにおいて採択された「SDGs」の達成に向けた先駆的な取組が高く評価され、昨年１２月の第１回「ジャパンSDGsアワード」でも特別賞受賞し、本年６月には「ＳＤＧｓ未来都市」に選定された。魚町銀天街でも全国の商店街に先立ち「SDGs商店街」へと名乗りを上げた。「SDGs」への取組を事業者や市民に対し積極的に周知・広報に努めるとともに、地域商店街の「SDGs」への取組みを支援していただきたい。

［北中連関係］

41　本連合会は、昭和29年の設立以来、63年間、北九州地域の中小企業支援と地域振興に積極的に取り組んできた。今後も北九州市が実施する各種中小企業施策に、市と連携し積極的に取り組む所存であるので、引き続き本連合会に対し委託事業の発注など特段の配慮をお願いしたい。

福岡県知事へ「要望書」を提出

平成30年11月28日（水）、自見会長を始め安心院、梯、安田の各副会長が県庁舎を訪問して、商工部長室において、自見会長から岩永商工部長に知事あての「平成31年度北九州地域の中小企業対策に関する要望」を手交しました。

この要望書は、北中連の４部会、２委員会において提案された要望、意見を集約し、正副会長会及び理事会で検討を加えて作成されたものです。

岩永商工部長　平田中小企業振興課長　吉田企画監の出席の下、要望書の掲載順に、景気対策のための予算確保、北九州空港の利用促進、東九州自動車道の早期4車線化、電力の安定供給、プレミアム商品券やキャッシュレス化対応への支援、河川はん濫対策の改修工事の実施、建設工事に係る提出書類の簡素化、工事の分離発注、中小企業の人材確保のための支援、法人税率軽減特例の延長、外形標準課税の非適用、外国人就労促進のための環境整備などについて説明を行いました。

なお、要望事項は９分野23項目で、次のとおりです。

平成31年度 北九州地域の
中小企業対策に関する要望

［景気対策］

1　県内事業所の99%、従業員数の８割を占める中小企業は、本県経済の発展と活力の源である。県においては「福岡県中小企業振興条例」の基本理念に則り、中小企業が安心して事業が継続できるよう、金融、税制などを含めた総合的な中小企業施策の実施と予算の確保を行っていただきたい。

　また、国に対して、早急かつ的確な景気対策と税制改革を実行すべく、積極的に働きかけていただきたい。

［地域振興対策］

2　北九州空港は､「拡大支援型」の訪日誘客支援空港に認定されている。認定による支援期間中に、24時間空港等のポテンシャルを活かした、国際線・国内線の更なる誘致、LCCや国際線誘致のためのターミナルビル機能の充実、滑走路延伸(3,000m化)、時間帯を考慮した路線の新設などを推進していただきたい。

　また、福岡県道245号新北九州空港線の交差点２箇所が立体化されるなどの改良が進められており、北九州空港へのアクセスも良くなることから、併せて福岡都心部と結ぶリムジンバスや北九州空港エアポートバスの増便を交通事業者に働きかけていただきたい。さらには、軌道系交通手段の調査着手など、利用客の利便性の向上について、福岡空港と一体化した整備を北九州市と連携して推進していただきたい。

3　東九州自動車道は、東九州地域はもとより、九州全体の産業や経済の一体的な発展に寄与するものであり、また、災害時には緊急輸送路として極めて重要な道路となっている。しかし、ほとんどが片側１車線のため、安全な通行や事故の際の緊急対応が懸念される。また、費用対効果の考え方を取り入れ、オリンピック・パラリンピックで観光客の増加が見込まれる2020年までに、関係機関と連携し、北九州と大分県内まで早急に４車線化が実現するよう推進していただきたい。

4　観光産業の振興を図るため、北九州市の世界遺産などの観光資源を生かすことは言うに及ばず、周辺市町村を巻き込んで連携して観光資源の魅力アップを図り、その魅力を国内外の観光客へ発信す

ることにより、北九州地域の観光客の増加と消費拡大につなげていただきたい。

［工業振興対策］

5　製造業における電気料金の値上げは、製造コストの大幅な増加となり、中小企業の経営を圧迫する。また、自然災害に伴うブラックアウト等の停電は中小企業にとって死活問題である。良質で廉価な電力の安定供給が保持されるよう、電力事業者に積極的に働きかけていただきたい。

6　平成31年10月１日から消費税率が10％に引き上げられるが、中小・零細企業が消費税を価格へ転嫁しやすい環境が損なわれ、増税のしわ寄せを中小・零細企業が被ることがないよう、消費税の転嫁拒否等の行為に対して実効性のある監視・取締りが徹底されるよう、国に対して要請していただきたい。

［商業振興対策］

7　プレミアム付商品券発行事業は、多くの商店街で取組まれ、商店街や市場、地域の活性化に直接結び付く有効な支援策であるから、引き続き予算の確保・充実を図っていただきたい。

8　小売業・サービス業を中心とする中小企業者の生産性向上は、その発展を遂げるための重要な課題である。生産性向上の一方法であるキャッシュレス化を進めるためのスマホ決済の導入促進を図るとともに、導入に伴うバックオフィスのIT化を助成・支援していただきたい。

［受注対策］

9　異常気象の影響によるものか、近年の集中豪雨はゲリラ豪雨などとも呼ばれるような局地的に短時間に大量の雨が降るなど、これまで予想もされなかった降り方をしている。河川はん濫による被害は甚大となるため、河川の安全点検を強化するとともに、計画的・継続的に補強・改修工事を実施していただきたい。

10　中小建設業において、残業時間の削減や週休２日制の導入、寒暑対策等など政府が推進する働き方改革に対応するため、工事の積算は工期、人件費、諸経費を十分に考慮して行っていただきたい。

　また、自然災害による資材調達の遅れや異常気象による熱中症対策等に対応するため、工期の延長に柔軟に対応していただきたい。さらに、夏場・冬場の異常気象に対応するため、季節に応じた人件費の割り増しを実施していただきたい。

11「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」に則り、官公需適格組合を始めとする事業協同組合等の受注機会の増大を図るとともに、引き続き、窓口の契約担当者に周知徹底していただきたい。

12　地元中小建設業の受注機会の拡大と専門業者育成の面からも、土木・建築工事において塗装、防水など専門業者で施工できる工事については、専門業者への分離発注に徹底的に努めていただきたい。

13　中小の建設業者にとって、工事請負契約における提出書類や工事写真などの提出物の負担は看過できない状態であることから、提出書類等の簡素化に取り組んでいただきたい。

［金融税制対策］

14　地域経済を支える中小企業等に対して行われている法人税率の軽減特例（19％→15％）は、30年度末までとなっている。中小企業の経営基盤安定・強化のため、更に、税率を引き下げたり、期間を延長するよう、国に積極的に働きかけていただきたい。

15　資本金や従業員数等などをベースとして課税する外形標準課税は、地域経済や雇用を支える中小企業にとっては、大変な負担増となり企業経営への影響も大きいので、中小企業への適用拡大を行わないよう国に強く働きかけていただきたい。

16　団地組合の一体化を保証するため、組合員の倒産等により、団地内不動産を組

合が一時取得する場合においては、不動産取得税について減免措置を講じていただきたい。また、登録免許税については非課税とするよう国に積極的に働きかけていただきたい。

［労働対策］

17　景気が回復傾向にあるため、中小企業の人材確保はますます厳しい状況に置かれている。県では、地元中小企業への理解を深め、新卒者や若年者が地元の中小企業に就職したくなるような様々な施策を実施している。これらのきめ細かな施策の実施とともに、これらの取組みの広報・周知を図って、地元中小企業の人材確保を支援していただきたい。

18　我が国のものづくり中小企業の優れた技術・技能は、我が国産業の国際競争力の強化に貢献するとともに、新製品・新技術開発や新たな産業を創出する基盤ともなっている。北九州地域のものづくり中小企業の技術技能、ノウハウが衰退することなく円滑に技術継承が図られるような人材育成の支援策を継続実施していただきたい。

19　中小企業における人手不足は深刻で、定年年齢を引き上げるなどしているが、根本的な解消策とはならず、外国人の就労を検討せざるを得ない状況である。そこで、外国人労働者・留学生の就業を推進するために外国人労働者・留学生に対する中小零細企業の就業情報の告知や在留資格に基づく就業条件ルールの周知などを推進するとともに外国人労働者の雇用に関する相談窓口を設置していただきたい。また、外国人労働者の生活支援など受入環境を整えるため、日本語教育の充実や住宅確保、医療・福祉などの相談体制の整備などを国に働きかけていただきたい。

20　ものづくりの楽しさや魅力の実体験を幼児教育から積極的に採り入れ、義務教育の段階から製造業や建設業等に興味を持つような教育を実施していただきたい。

　また、厳しい経営状況におかれている中小企業では、社内で従業員を教育する資金的、時間的余裕がないため、即戦力を必要としている。特に、電気、溶接、機械、建築、建設、土木などの基礎的な技術の習得者を育成し社会に送り出すため、工業高校や専門学校等のカリキュラムの充実や定員増を図っていただきたい。

21　近年の異常気象による災害は特異なことではなく常態化することが予想され、今後は建設工事が重要になってくる。しかし、建設業界には現場監督者をはじめ作業員等の人材不足は深刻で、仕事はあっても受注できない状況となっている。近年発生している災害の早期復旧や今後発生する恐れのある災害に早急に対応できるようにするため、建設業従事者の人材の確保を支援していただきたい。

［環境対策］

22　近年の異常気象は我が国のみならず世界の多くの国々に影響を与えており、その原因の一つと考えられる地球温暖化にも強い関心が寄せられている。県は、究極のクリーンエネルギーとして注目されている水素エネルギー社会の実現に向けて取り組んでいる。自動車分野をはじめ水素エネルギー活用の動機付けや普及促進を図るとともに、特に、水素関連産業を育成していただきたい。

［北中連関係］

23　本連合会は、昭和29年の設立以来、63年間、北九州地域の中小企業支援と地域振興に積極的に取り組んできた。今後も福岡県が実施する各種中小企業施策に、県と連携し積極的に取り組む所存であるので、引き続き本連合会に対し委託事業の発注など特段の配慮をお願いしたい。

北中連 理事会・正副会長会

第４回理事会

９月27日（木）15時から北九州市立商工貿易会館5階会議室において、理事13名、監事２名の出席のもと、平成30年度第４回理事会が開催された。

自見会長が挨拶の後、議長となり議事に入り、第1号議案　事業報告（各種経過報告）、第２号議案　平成30年度下半期行事計画、第３号議案　部会・委員会の開催報告、第４号議案　平成31年度中小企業対策の県・市に対する要望のとりまとめ、第５号議案　事務局長の任用について審議し、全て承認した。

続いて、北九州市からの委託事業である「人材確保支援及び正規雇用促進事業」の内容と実績報告及び事業への協力要請ついて説明があり、理事会を閉会した。

第５回理事会

12月14日（金）18時から稚加榮小倉店において、理事16名、監事２名の出席のもと第５回理事会が開催された。自見会長が挨拶の後、議長となり議事に入った。

各種経過報告、福岡県及び北九州市に対する平成31年度中小企業対策の要望・陳情活動の報告などについて、説明及び討議を行い、全て承認された。

理事会終了後、引き続き、北橋市長、岩見産業経済局新成長戦略推進部長、本島中小企業振興課長、北中連顧問の市川商工中金北九州支店長、和田相談役、瀬口参与をお招きし、交流会を行い、和やかな雰囲気の中で情報交換と交流を深め、池田北中連副会長の中締めで閉会した。

第２回正副会長会

９月27日（木）13時30分から北九州市立商工貿易会館７階会議室において、自見会長、池田、安心院、松本、梯、富澤、安田の各副会長の出席のもと正副会長会が開催され、自見会長が議長となり審議に入った。

理事会提出議案を審議、承認の後、その他の事項として、事務局長の任用、昨年度要望した北九州市に対する要望の回答、９月12日（水）京都市西陣織会館で開催された第70回中小企業団体全国大会の報告などについて説明及び討議を行った。

北中連工業部会

７月24日(火)16時30分からホテルニュータガワの会議室において、委員12名、オブザーバー３名が出席して、工業部会が開催された。

開会に先立ち市産業経済局中小企業振興課の菅係長から「平成30年度工業関係施策について」の説明を受けた。

会議では、昨年度の県、市に対する要望・陳情の経過報告及び回答について種々説明が行われ、続いて平成31年度要望について意見交換が行われた。

そのなかで、西日本豪雨の影響で顧客が被害を受け出荷できなかったことや部品・資材の調達に遅れが出たこと、BCP(事業継続計画）への取り組みについて、鋳物業界は関西地区の景気が良く九州との差を痛感させられる、人件費アップが認められないと人材確保に影響する、東九州自動車道４車線化の完成時期を明示して取り組んでほしい、個々の企業では要求しにくいが業界の団体で材料費の値上げを要求したところ認められたことがある、などの意見や要望が出された。

北中連商業部会

７月25日（水）13時30分から、北九州市立商工貿易会館会議室において、委員４名、オブザーバー５名の出席のもと商業部会が開催された。

開会に先立ち市産業経済局商業・サービス産業政策課の原係長から「平成30年度予算概要（商業施策）について」の説明を受けた。

会議では、昨年度の県、市に対する要望・陳情の経過報告及び回答について種々説明が行われた。

続いての意見交換では、小倉ホテル跡地を広場にして天蓋の設置、商店街内における風俗営業等業種の出店規制の強化、ゲームセンターに属するeスポーツの取扱いへの配慮、商店街内における客引き行為の取締り、今年10月の消費税増税の影響などの意見や要望のほか、イオンモールの進出は地元に配慮した計画に、商店街との話し合いの場を、広島に進出している状況など、スペースワールド跡地問題の意見や要望が出された。

北中連サービス業その他業種部会

７月25日（水）15時00分から、北九州市立商工貿易会館会議室において、委員など８名が出席してサービス業その他業種部会が開催された。

開会に先立ち市産業経済局商業・サービス政策課の石松係長から「平成30年度予算概要（サービス産業施策）について」の説明を受けた。

会議では昨年度の県、市に対する要望・陳情の経過報告及び回答について種々説明が行われ、平成31年度要望について意見交換が行われた。

委員からは、人手不足で仕事を断らざるを得ない状況があること、定年年齢を65歳から70歳に引き上げたりしているが抜本的な解決とはならないこと、外国人の雇用を検討中で技能実習生など外国人雇用についての相談窓口を設置してほしいなどの人材確保の問題のほか、起業家支援に対する市の担当部署について、燃料費（軽油）の高騰に苦しんでおり道路特定財源ではなくなったので軽油引取税を撤廃してほしい、などの意見や要望が出された。

北中連建設関連部会

７月26日（木）13時30分から、北九州市立商工貿易会館会議室において、委員４名、オブザーバー４名が出席して建設関連部会が開催された。

部会に先立ち市産業経済局中小企業振興課の工業・建設業支援担当の菅係長から「平成30年度建設関係の主な施策について」の説明を受けた。

会議では昨年度の県、市に対する要望・陳情の経過報告及び回答について種々説明が行われた。

続いて、委員からは、首都圏に技術者が採られ現場監督者など技術者の人材不足が深刻、教育の場での技術者を養成する学科の新設や定員の増、50年先を見据えた河川の改修が必要、民間の受注単価は高くなっているが人手不足で受注できない、災害や熱中症対策などを考慮した工期の見直し、働き方改革の実施に伴う必要経費の見直し、県においては分離発注を徹底してほしい、建設業者は廃業と新規起業がほぼ同数で全体数は変わらない、などの意見や要望が出された。

北中連金融税制委員会

７月26日（木）15時00分から、北九州市立商工貿易会館会議室において、委員など８名の出席のもと金融税制委員会が開催された。

開会に先立ち市産業経済局中小企業振興課の北野係長から「市の融資制度について」、㈱商工組合中央金庫北九州支店の市川支店長から「商工中金の融資について」の説明を受けた。

会議では、昨年度の県、市に対する要望・陳情の経過報告及び回答について種々説明が行われた。

委員からは、制度融資の利子の低減、高度化融資の借入実績がある企業への優遇的な追加融資、行政が支援した事業に対する金融機関による再支援、協同組合が解散した場合の企業融資の取り扱い、固定資産税ゼロ特例事業の期間の延長、法人税の軽減税率や交際費課税の特例措置の延長、などの意見や要望が出された。

第70回中小企業団体全国大会

９月12日（水）に全国から中小企業関係者約1,700名が参加し「明治150年 歴史と文化、地域を支える中小企業が未来を拓く」をテーマに第70回中小企業団体全国大会が京都市の「上七軒歌舞練場及び西陣織会館」において開催された。

多くの挨拶及び来賓祝辞の後、議長（１名）副議長（２名）を選任し、議事に入り昨年度の決議に対する経過報告があり、50頁からなる決議（案）の上程と意見発表が行われ、賛成多数で承認可決された。

続いて、①生産性向上、働き方改革への対応による持続的な成長 ②被災地の早期復旧・復興と地域活性化 ③中小企業組合等連携組織の存在価値の向上 を謳った宣言案が読み上げられ賛成多数で承認可決された。

なお、次回は平成31年11月７日に鹿児島県にて開催されることが決定した。

福岡県地域経済懇談会

平成30年７月23日（月）ホテルニュータガワにて、30年度福岡県地域経済懇談会が、県商工部、県中央会、商工会連合会北九州支部、北九州商工会議所、北中連などから46名の出席の下で開催された。

懇談会は、前田北九州中小企業振興事務所長の開会の挨拶に続いて、岩永県商工部長が挨拶をされた後、懇談会に入った。

初めに、福岡県における中小企業振興施策の取組みとして、①「事業承継支援」(中小企業振興課)、②「中小企業技術・経営力評価制度、デザインアワード」(新事業支援課)、③「ものづくり支援の取組み（IoT推進ラボ・プロ人材)」(新産業振興課・中小企業技術振興課)、④「第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」(観光政策課)について資料により説明がなされた。

続いて、北九州地域中小企業支援協議会の重点支援企業の取り組み事例として、門司印刷株式会社の代表取締役江島和男氏及び八木鋳金の代表八木孝弘氏（芦屋釜の復興）が事業の概要について発表された。

各団体からの意見・要望及び意見交換では、北中連の池田副会長から「働き方改革への対応及び外国人労働者の受入れについて」、同じく梯副会長から「プレミアム付き商品券発行事業の継続と支援の充実について」、県商工会連合会北九州支部会長会の今井幹事から「地域中小企業支援協議会が支援したモデル企業のメディア広報について」、同じく穴田監事から「創業支援策及び経営革新後の支援策拡充について」、同じく安部会長から「平成31年度プレミアム付き商品券の発行について」、同じく中家副会長から「働き方改革について」、北九州商工会議所の能美専門相談センター長から「経営革新支援関連施策の充実について」、同じく岡田小倉サービスセンター長から「プレミアム付き商品券発行事業の継続と支援の充実について」、同じく牧中小企業振興課長から「創業支援策の拡充（補助金制度の創設）について」の意見・要望がなされた。

その後、各担当課長などから総括的な回答が述べられ、引き続き意見交換となり、「事業承継の問題は、事業が儲かっていないから継ぐ人がいないのである。」、「世間の安ければ良いという風潮を改める必要がある。」など活発な情報交換が行われ、岩永商工部長が全体的なまとめを話され、閉会した。

懇談会終了後、同ホテルにて北中連主催による懇親会が開催され、自見北中連会長の挨拶、岩永商工部長の祝辞、安部商工会連合会北九州支部会長会会長の乾杯の音頭で始まり、和やか中に活発な情報交換がなされた。

最後に、羽田野北九州商工会議所専務理事が中締めを行い、盛会のうちに閉会した。

先進企業視察（岡山県）

福機連北九州支部

福岡県機械金属工業連合会北九州支部は、福機連本部及び北中連工業部会の支援を受け、技術開発、作業改善、生産管理など企業経営の参考に資するため、先進企業視察を行っています。生産現場を実際に見て、経営者や技術者などと直接意見交換することにより、具体的に一層深く知識を習得できると、参加者から好評を得ています。

今年度は、11月19日・20日に（株）商工組合中央金庫岡山支店長染谷英明氏の紹介で（株）英田エンジニアリング（美作市）と（株）アステア（総社市）を視察しましたので、その概略を紹介します。

◆株式会社 英田エンジニアリング

《概　要》

創　　業　1974年８月17日
代 表 者　代表取締役社長　万殿　貴志
従業員数　135名
所 在 地　〒701-2603
　　岡山県美作市三保原678
　　TEL 0868-74-3637　FAX 0868-74-2195
事業案内　冷間ロール成形機・造管機、無人駐車場・駐輪場管理システム、パワーボラード、印刷機関連機器、フォーミングロール、金型・刃物関係、自動化専用機、等の企画設計製造販売
資 本 金　6,000万円　　年　商　51.7億円（2017年12月期）
その他事業所　吉井工場、岡大インキュベーター商品研究開発室、大阪営業所、東京営業所
関連会社　パークン・パーク株式会社、株式会社アズプロモーション
　　英田（上海）精密機械有限公司

《沿　革》

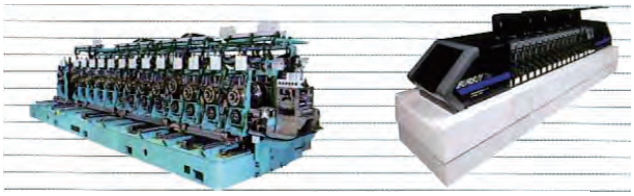
1974年　８月　有限会社英田エンジニアリング設立
1980年　４月　本社工場完成・移転
1985年　４月　資本金4,000万円に増資
1992年　７月　大阪中小企業投資育成㈱より投資を受ける。資本金6,000万円
1996年　４月　株式会社アズプロモーション設立
1999年　７月　パークン・パーク株式会社設立
2000年　10月　英田精密機械有限公司開業
2001年　11月　ISO9001：2000 取得
2006年　８月　NIC開発生産棟完成
2008年　10月　熱処理・研究・生産棟完成
2012年　４月　フォーミングロール開発生産棟完成
2012年　11月　本社・総合事務所完成
2016年　４月　フォーミングロール開発生産棟第２工場完成

英田エンジニアリングは国際社会に通用する「ちょっと進んだモノづくり」とその改善、改良、新商品の開発に努力をし続け、急激な社会と経済の変化に対応できる個人と会社をつくり、いつまでも成長し続け地域社会に貢献することを創業者の精神として受け継いでいる。

この会社で製造されている主な製品は以下のとおりである

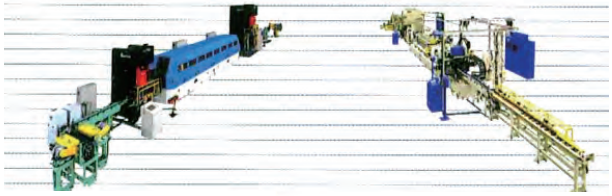
■ 成形機・造管機　等 ■

造型機



組替レス式
冷間ロール成型機

BURS21

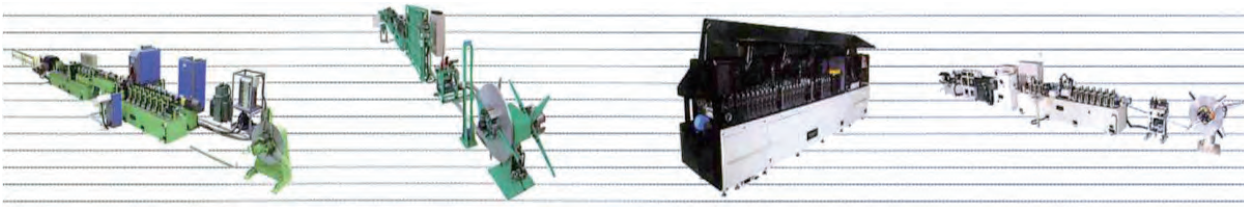


カセット式
PP RST 成形ライン

カセット式
PP フレーム成形ライン

フォーミングラインでは航空機部材・自動車部材・建築部材等様々な形状の成型が可能である。
ロール設計から制御システムを含むフォーミングラインまで一貫して行い、長年の研究・経験による独創的かつ卓越したアイデアが省力化・自動化など顧客のニーズを満たしている。

造管機



FTL 精密チューブミルライン　カセット式高精度バルブ造管ライン　多孔フラット管造管ライン　螺旋フレキシブルチューブライン

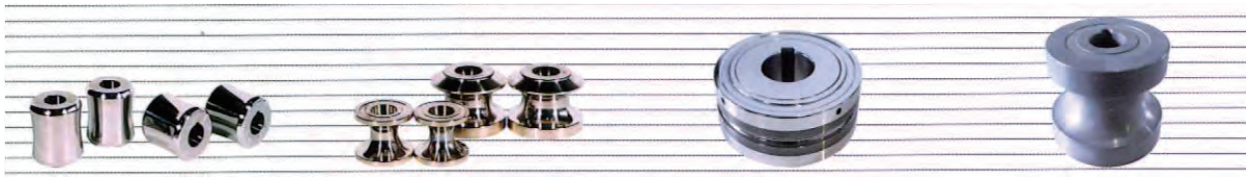
チューブミルラインでは高精度パイプの造管は勿論、フラット形状・螺旋形状等、特殊形状パイプの造管が可能である。また造管後の樹脂被覆やクラッドについてもオンラインで対応可能である。
製品の用途・材料・板厚に合わせ、高周波誘導圧接・TIG溶接・プラズマ溶接・レーザー溶接から選定する。

付帯装置

2 ヘッド式丸パイプ自動面取装置　プラグ引拡管装置　平板連続ブランキング装置　ロールカセットチェンジャー

長年の経験と実績により蓄積された技術は、幅広い分野で評価されている。
ユーザーの立場になって考えられるエンジニアによって、数多くの製品を送り出している。

■ フォーミングロール ■

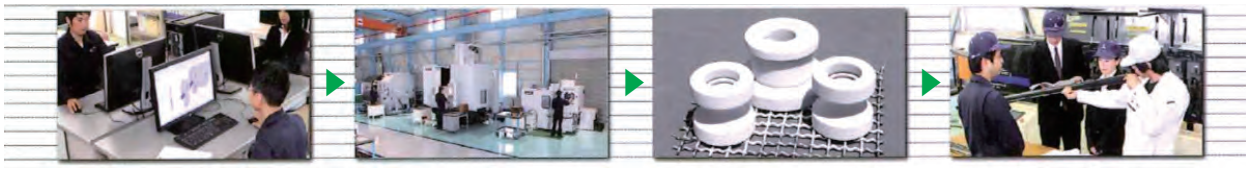


ＳＫＤ11　　ＤＭアロイ　　超硬ロール　　セラミックロール

使用条件・用途に合わせた多種多様な材料、かつ小径から大径まで幅広いサイズのフォーミングロールが製作可能である。

卓越した技術・実績・スピーディなサービスによりユーザーに満足いただける最適な提案をしている。

製造工程



設　計　　加　工　　真空熱処理／サブゼロ　　トライ／解析

設計からトライまで一貫して行い、各工程にて解析を実施。解析結果をフィードバックすることで日々更なる品質向上に努めている。

サブゼロ処理等の品質への拘りにより、経年変化の抑制、硬度の均一化、耐摩耗性の向上等、金属の性能を最大限に引き出すことが可能である。

設備紹介

内外径研削盤　　立形 CNC 旋盤　　ワイヤ放電加工機　　表面性状測定機

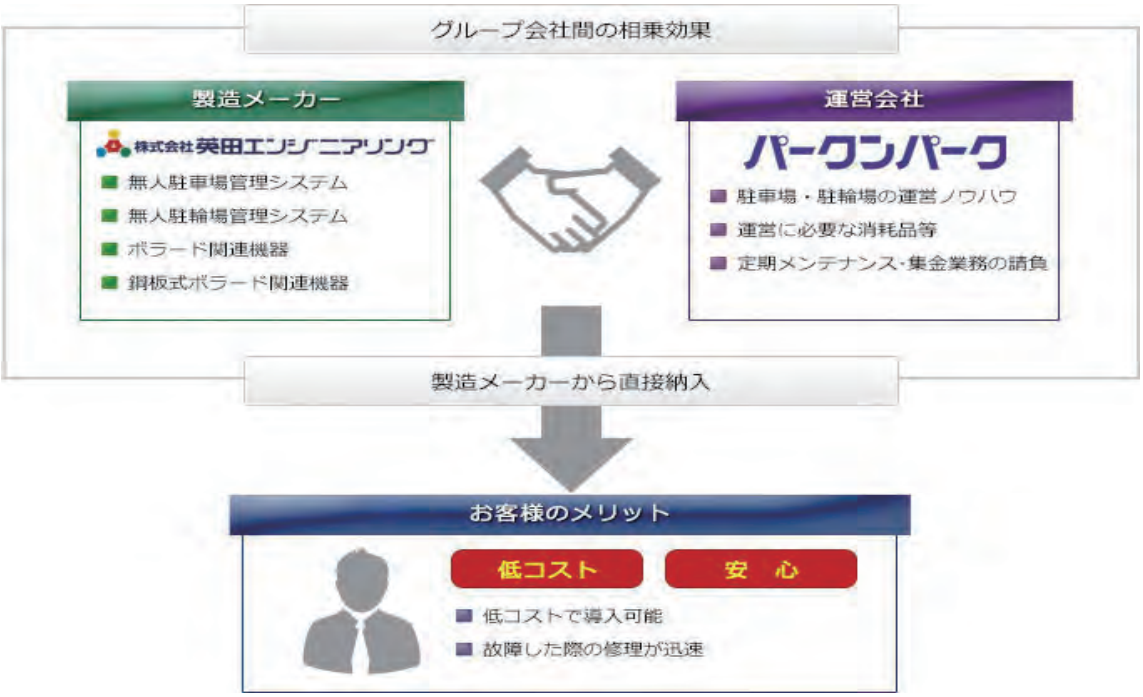
長年蓄積された熱処理技術、精密加工を可能にする最新鋭の加工設備と自社トライ設備により、高品質な製品をスピーディに提供している。

■ 駐車場機器・駐車場システム ■

駐車場機器、看板類及びその他設備品、設置工事までの一切を行う。

英田エンジニアリングでは街中で多く見られるコインパーキングの機器も開発・製造・販売しており、20年間に渡る製造実績を基にその経験を活かしながら、IT技術を存分に加味した無人駐車場管理システム（コインパーキング）、無人駐輪場管理システムを開発・製造している。頑丈で故障が少なく、かつシンプルな構造のフラップ（AEFR-12）には定評がある。

グループ会社「パークンパーク」での駐車場運営ノウハウを活かし、駐車場利用者の生の声を取り込んで、顧客のニーズに応えるよう機器への改善・改良をしている。また、看板類その他駐車場設備品も社内製造しており、駐車場のレイアウトからライン、機器設置工事、設備品の取付け工事までの一切を行うことで、安くて便利な駐車場をトータルに提案している。



「既製品では出来ない」特別な仕様に対応可能

ポラード

鋼板式バリケード

この製品は、2001年９月11日のアメリカ同時多発テロに多大な衝撃を受けた同社の経営者が、自ら開発に携わり完成した“パワーボラード”という“車両進入防止装置”である。開発には、同社の産業機械の開発・製造で培った技術やノウハウはもとより、有名大学との共同研究や実車を使った衝突試験を繰り返し行い完成した製品である。指定強度、形状、駆動方式等、さまざまなニーズに合わせて、最適な機種を選定し、運用についてもエンドユーザーの意見を聞いて製造しており、機械メーカーの強みでもある､「既製品では出来ない」特別な仕様にも対応できる。

現在までに官公庁、空港関係、発電所等の国内重要施設から民間の商業施設まで幅広く利用されている。

株式会社 英田エンジニアリング　玄関にて

◆株式会社 アステア

《概　要》

代　表　者　代表取締役会長　水松　幹夫
　　代表取締役社長　辻　　穣
設　　立　2003年10月
資　本　金　31,000万円
本社･第1工場　〒719-1134　岡山県総社市真壁1597
　　TEL 0866-93-2323（代）／ FAX 0866-93-0415
第 2 工 場　〒719-1134　岡山県総社市真壁1470
　　TEL 0866-93-1171 ／ FAX 0866-93-5110
第 3 工 場　〒719-1154　岡山県総社市井尻野77
　　TEL 0866-93-1181 ／ FAX 0866-94-7504
第 4 工 場　〒710-1201　岡山県総社市久代1724-8
　　TEL 0866-96-1574 ／ FAX 0866-96-2640
4 0 1 工 場　〒710-1201　岡山県総社市久代1408-8
　　TEL 0866-96-1011（代）／ FAX 0866-96-1951
第 5 工 場　〒710-1201　岡山県総社市久代1724
　　TEL 0866-96-2081 ／ FAX 0866-96-2083
5 0 1 工 場　〒710-1201　岡山県総社市久代1251
　　TEL 0856-96-2081 ／ FAX 0866-96-2083
九 州 工 場　〒824-0022　福岡県行橋市大字稲童1173-1
　　TEL 0930-26-7700 ／ FAX 0930-26-7701
東 海 工 場　〒411-8074　愛知県豊橋市明海町4-30
　　TEL 0532-39-9780 ／ FAX 0532-39-9779
従 業 員 数　665人（2018年４月現在）
事 業 内 容　自動車部品、農業用機械製品、住宅用内装・外装部材等の製造用治具・工具、金型、装置の設計、製造販売と同製品の製造に関する開発・設計、技術開発、工法研究によるシステム技術の販売

社名の由来

ASTEER
株式会社アステア

Active	活発・積極的
Speedy	迅速な
Technical	専門的な
Excellent	優れた・卓越した
Ecological	環境保護
Reliable	信頼・頼りになる

語源は、**アス：明日** と、
　　ステア：舵取り を組合せたものである。
社名には、業界の**「明日を舵取る」**という願いと**「意気込み・決意」**が示されている。

◆◇◆ 3つの強み ◆◇◆

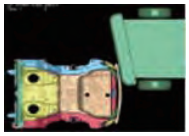
開発力。

衝突安全部品・燃料系部品・ボデー骨格・ドアの専門メーカーとして、モノづくりに立脚した、先進の魅力ある新構造・新製品を世界に提案し続けている。

世界最適調達の流れの中、市場ニーズを先取りした新構造・新製品を短期間で開発することをモットーに、研究開発体制の強化とデジタル技術の活用に積極的に取り組んでいる。

提案する新構造・新製品は、より高機能・高品質で、かつ安全性確保・環境負荷低減・省資源・省エネルギーに貢献する事を目指し、長年培ってきたモノづくり技術の基礎をベースに先端の技術と開発手法を適用して、材料・工法・構造の最適化を図り、軽量・安価・高品質を追求し続けている。

また開発した特許製品は、グローバルに製品展開を行うとともに、各国に技術供与を行っている。今後は、さらにこの路線を強化し、グローバルな自動車部品サプライヤーへの基盤を築きつつある。



技術力。

モノづくりの技術に磨きをかけ、製品開発のバックボーンを固めるとともに、世界に適用する品質・コストを具現化し続ける。

長年に亘って培ってきた、加工技術（塑性加工・溶接加工・表面処理・樹脂加工など）と生産方式（フレキシブルな混流生産など）に代表される固有のモノづくり技術に最新のデジタル技術（デジタルファクトリーなど）を高度に融合させて、品質向上・生産性向上・環境負荷低減を同時に実現するため、積極的に取り組んでいる。

特に、超高張力鋼板のプレス成形・ロール成型技術・各種テーラードブランク技術・機能部品の樹脂成形技術、各種計測技術に代表される特長技術は、製品開発を強力にサポートしている。同時に、そのベースとなるプレス金型の製作やプラットフォームに代表される製品の試作においても、設備の近代化とデジタル技術の導入を積極的に行い、技術の深化を進めている。

海外への技術提携や技術供与に伴う技術支援にも力を注ぎ、グローバルな展開を行っている。

国際競争力。

独自の製品で国際競争をリードする。
世界のサプライヤーとして挑戦を続ける。

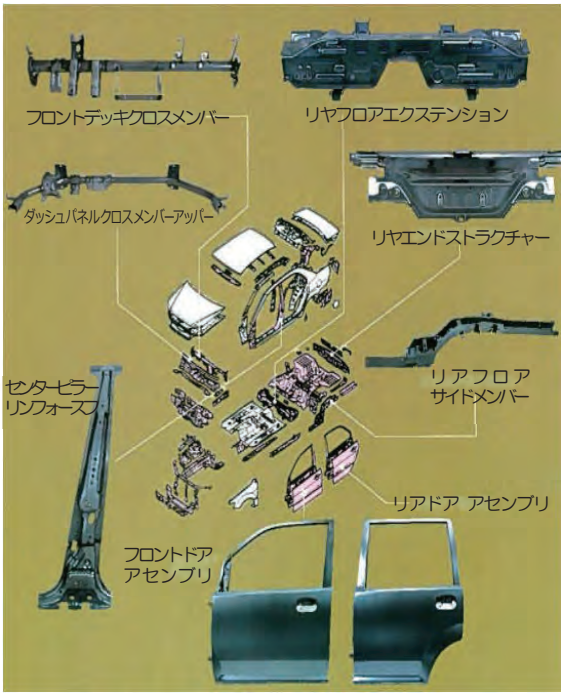
1980年代中盤から加速した日本の部品産業の国際化は、価値創造型の新たなステージを迎えようとしている。すなわち、従来の自動車メーカー依存型の国際展開から、成長源である海外市場の付加価値を、自立性を持って獲得する戦略的なステージに移行しつつある。

現在、アステアは、海外の生産拠点としてアメリカ「EWI」、タイ「アステアタイランド」、中国「A&W」、「FFMI」をはじめとする出資会社を設立、その他にも台湾、マレーシア、韓国、メキシコなどの複数地域へ技術提携という戦略でクロスボーダーアライアンスの経験を蓄積している。今後は パテント商品（日本・アメリカ・ドイツの特許取得）の開発をさらに推進し、生産システムだけでなく製品力でも更なる国際競争力を高め、世界市場への進出を目指している。世界のサプライヤーとして認知される企業になるために、アステアは、挑戦を続けている。

ボディ部品

ドアアセンブリ

プレス・ロール成形からドアアセンブリまでの一貫生産体制が構築されている。



サッシュロール成形ライン

サッシュプラズマアーク溶接

ドアインナアセンブリライン

ドアヘミングプレス

フロントドアアセンブリ

センターピラーリンフォース

テーラードブランク加工と高周波焼入れにより、
衝突性能向上と重量軽減を図っている。

マッシュシーム溶接機

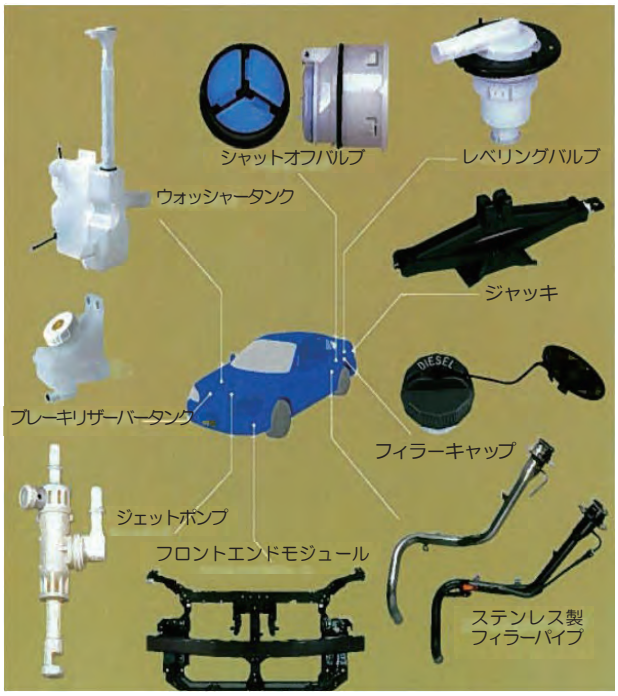
高周波焼入れ装置

トランスファプレス

センターピラーリンフォース
溶接組立ライン

センターピラーリンフォース

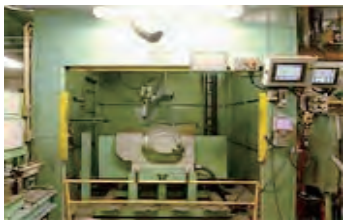
機能製品



日の字バンパー

独自断面により衝突性能向上と重量軽減（特許取得）をしている。

バンパービームロール成形ライン


レーザー切断

バンパービーム溶組ライン

フロントエンドモジュール

バルブ　レベリングバルブ

蒸散規制に対応した高性能部品（各種特許取得）である。

インジェクション成型機

レベリングバルブ組立ライン

レベリングバルブ

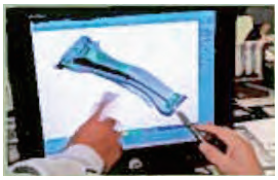
フィラーキャップ組立ライン

フィラーキャップ

生産体制

企画・開発・設計

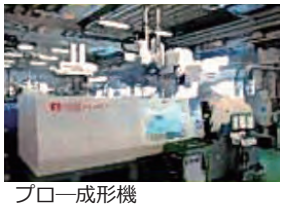
企画・開発・設計室


バーチャルデジタル・
デザインシステム

板金成形

3000 t トランスファプレス

樹脂成型


プロ―成形機

試作・型治具製作

3 次元 CAD

大型マシニングセンター

溶接組立・表面処理

サッシュプラズマアーク
溶接ライン

電着塗装ライン

品質保証・出荷

株式会社 アステア　正面玄関にて

通常総会・卓話会・交流会

福機連北九州支部

７月24日(火)17時30分から、ホテルニュータガワ会議室において、福機連北九州支部の30年度総会・卓話会・交流会が開催されました。

総会議事では平成29年度事業報告、収支決算及び監査報告に続き、平成30年度事業計画及び収支予算案、役員の改選が上程され、何れも原案通り可決承認されました。

引続き行われた卓話会では、５月に新しく就任された日本銀行北九州支店長梅田秀彦氏を講師にお招きして「北九州経済を取り巻く経済の現状」をテーマにお話をしていただきましたので、その骨子を紹介します。

《海外経済情勢》

・ＩＭＦ（国際通貨基金）の世界経済見通しは、3.8%でほぼ横ばい。
・ＩＴセクターの好調が世界貿易の強力なメインエンジンとなっているが、好調がいつまで続くか不透明。
・サーバー需要は拡大。車載関連、IoT製品、仮想通貨関連等の新需要も、半導体需要を下支えする見込み。IT製造業の設備投資は高伸長した2017年に次いで、2018年も増加見込み。
・米国経済は、財政政策による押し上げ効果で拡大している。
・中国経済は、輸出は増加基調、消費は底堅く推移、設備投資は増勢鈍化で、総じて安定した成長を続けている。
・中国経済の堅調な消費の背景には、①社会保障の充実②消費者ローンの拡大③格差の縮小、などが消費を後押ししている。

《国内経済情勢》

・景気は緩やかな拡大が続いている。
・輸出は海外経済の着実な成長を背景に増加基調にある。
・企業収益は堅調な海外経済の成長に支えられ、売上高経常利益率ははっきりと改善している。
・設備投資は、全産業の大企業と中小企業ともに増加傾向を続けている。
・労働需給は着実に引き締まり、雇用者所得は緩やかに増加している。
・人手不足感は一段と強まっている。
・個人消費は振れを伴いながらも緩やかに増加している。

《北九州経済の動向》

・北九州・京築地区の景気は、緩やかに拡大している。
・公共投資は弱含んでいる。輸出は全体として高水準で推移している。設備投資は堅調な収益動向を背景とした能力増強の動きがみられることから、製造業を中心に増加している。
・個人消費は振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。

など、統計データを示しながらわかりやすくお話をしていただきました。

卓話会終了後、多くの来賓の出席の下、交流会が開催され盛会裏に終了しました。

北中連からのお願い

北九州市委託
「市内中小企業の人材確保支援及び正規雇用促進業務」への協力について

私ども北中連では、標記業務を北九州市から受託し、実施しています。

調査員が会員の企業様へ電話連絡のうえ、直接企業訪問をさせていただき、ヒアリングによるアンケート調査を行いますので、ご協力をお願いします。

事業目的

市内の有効求人倍率が1.5倍（昨年９月時点）を超え、市内中小企業の人材不足は深刻な問題となっており､｢人手不足｣の相談も多く挙がっている。また、今後、国で議論が続いている「働き方改革」が具現化することにより、企業としての対応も必要になってくることが予想される。

そこで、市内中小企業の経営者層と緊密に情報交換を行い、企業が抱えている課題の把握、企業に対して市内求職者の状況や市の取り組み等の情報提供を行なうことで課題解決に取り組むとともに、国等が実施する正規雇用化に関する助成制度等の情報提供や相談に応じることにより正規雇用促進の支援に寄与する。

事業の流れ

調査員がアポイント → 訪問 → 企業にて面談・情報の交換 → 事務局にて報告書作成 → 提出 → 市

事業実績

事業実績は以下の通りです。

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29	32	28	33	43	29	34	36	32	34	26	32	42	401
30	33	35	33	31	27	41	37	36	37				310

北九州市内中小企業のみなさま、設備投資のチャンスです！

固定資産税ゼロ特例事業（先端設備等導入計画）受付のご案内！

国では、中小企業の生産性向上に向け、今後３年間（２０１８年～２０２０年度）を「生産性革命・集中投資期間」と位置付け、「生産性向上特別措置法」に関連して、臨時・異例の措置として、償却資産に係る固定資産税の特例が創設されました。

本市では、この特例を活用して、一定の要件を満たす場合に、中小企業の新規取得設備投資の固定資産税を３年間ゼロにします。

この制度を利用いただくためには、「先端設備等導入計画」の作成が必要です。

（１）計画の概要

中小企業等は、①計画期間内（３～５年）に、②労働生産性を年平均３％以上向上させるため、③先端設備等を導入する計画を策定し、それを本市が認定。

（２）計画の認定を受けられる者

中小企業等経営強化法上の中小企業等が対象。但し、固定資産税のゼロ特例を利用できるのは、資本金額１億円以下の法人、従業員数１，０００人以下の個人事業主等（大企業の子会社を除く）。

（３）対象設備

商品の生産若しくは販売又は役務の提供の用に供する設備であって、生産性向上に資する指標が旧モデル比で年平均１％以上向上する下記設備

【減価償却資産の種類（最低取得価額/販売開始時期）】

- ◆機械装置（１６０万円以上/１０年以内）
- ◆測定工具及び検査工具（３０万円以上/５年以内）
- ◆器具備品（３０万円以上/６年以内）
- ◆建物附属設備（償却資産として課税されるものに限る）（６０万円以上/１４年以内）

（４）計画の認定を受けた場合の効果

①認定を受けた先端設備等の固定資産税が３年間ゼロへ

②国の各種補助金（ものづくり・サービス補助金等）における優先採択

〔受付時間〕　８：３０～１７：１５（土日・祝除く）
〔受付場所〕　北九州市産業経済局中小企業振興課
（戸畑区中原新町２番１号　北九州テクノセンタービル１階）

※申請方法・申請書様式等は、中小企業振興課ホームページをご覧ください。

固定資産税ゼロ特例事業　北九州市　検索

http://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/010700243.html

相談ブース

【問い合わせ先】　北九州市産業経済局中小企業振興課　　TEL：093-873-1433

北九州市の就職支援事業のご案内！

－　人材確保に是非ご活用ください。－

利用無料

－ 市内就職希望者多数登録しています －

北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト

http://www.shigotomarugoto.info/ui-turn　北九州市　Uターン　検索

全国のU・Iターン就職希望者と、即戦力をはじめとする人材の確保を目指す市内企業とを結び付ける職業紹介等の事業です。HPより登録すると、登録者の情報検索、面接案内の送付、面接エントリーの受付等が可能です。【求人募集できる雇用形態：原則、正社員（常用雇用）】

利用対象

企業等　北九州市内に事業所を有する企業（今後進出予定の企業を含む）

求職者　北九州市内へのU・Iターン就職希望者

－ 専任コンサルタントが窓口で対応します －

北九州市U・Iターン応援オフィス

場　所：AIMビル2階　　開所時間：月曜～土曜　10:00～18:00

お問合せ　TEL：0120-0823-46　E-Mail：ui-turn.syoukai@shigotomarugoto.info

－ 首都圏企業からの人材還流を支援します －

シニア活躍！セカンドキャリア支援プロジェクト

北九州市にゆかりのある首都圏企業の役職定年者や退職者のうち、北九州市でのセカンドキャリアを検討されている方と、市内企業の人材ニーズを結びつけ、シニア・ハローワーク戸畑等と連携してマッチングする取り組みです。概ね５０歳以上のキャリア・知識を持つ人材のご活用を検討される企業へ「シニア求人支援員」がお伺いします。

お問合せ　シニア求人支援員（北九州市高年齢者就業支援センター）　TEL：093－882－5400

－ 若者の採用なら －

若者ワークプラザ北九州

まずはサイトへアクセス！　若者ワークプラザ北九州　検索

http://www.shigotomarugoto.info/wakamono/index.php

概ね40歳までの若年求職者を対象とした、北九州市が設置する就職支援の窓口です。カウンセリングや就職情報の提供、スキルアップセミナー等によるミスマッチの少ない職業紹介を行っています。【求人募集できる雇用形態：正社員（常用雇用）や契約社員、パート等】

利用対象

企業等　北九州市内に事業所を有する企業（今後進出予定の企業を含む）

求職者　正社員、契約社員・パート・アルバイトなどをお探しの方

お問合せ　若者ワークプラザ北九州　TEL：０９３－５３１－４５１０

今後の「合同会社説明会」開催スケジュール

平成３１年３月１３日（水）　１２：００～１７：００

《対象》２０２０年春卒業予定の大学生等、既卒者・再就職者

《会場》西日本総合展示場　　《主催》北九州市、北九州商工会議所、北九州・下関まなびとぴあ

※問合せは、北九州市雇用政策課　ＴＥＬ：０９３－５８２－２４１９

事業主の皆さまへ　「働き方」が変わります！！

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律（＝改正法）」が平成３０年７月６日に公布されました。改正法の大きなポイントは次の３点です。

POINT 1　時間外労働の上限規制が導入されます！

施行：２０１９年４月１日～　※中小企業は２０２０年４月１日～

時間外労働の上限について、月４５時間、年３６０時間を原則とし、臨時的な特別な事情がある場合でも年７２０時間、単月１００時間未満（休日労働含む）、複数月平均８０時間（休日労働含む）を限度に設定する必要があります。

POINT 2　年次有給休暇の確実な取得が必要です！

施行：２０１９年４月１日～

使用者は、１０日以上の年次有給休暇が付与される全ての労働者に対し、毎年５日時季を指定して有給休暇を与える必要があります。

POINT 3　正規雇用労働者と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇差が禁止されます！

施行：２０２０年４月１日～　※中小企業は２０２１年４月１日～

同一企業内において、正規雇用労働者と非正規雇用労働者（パートタイム労働者、有期雇用労働者、派遣労働者）の間で、基本給や賞与などの個々の待遇ごとに不合理な待遇差が禁止されます。

上記以外にも法改正があります。
詳細は、福岡労働局ホームページでご確認ください。▷▷　福岡労働局　働き方改革　検索

「北九州マイスター」の技術を伝授します！

長年にわたり技能の研鑽、後進の育成に励み、卓越した技能で「モノづくりのまち　北九州」の発展を支えてきた『北九州マイスター』が、地域企業へ出向き、技術指導を行っています！
指導内容については、お気軽にご相談ください！

技術指導項目	溶接・機械加工（普通旋盤・マシニングセンター等）・研削加工・仕上げなど（その他ご希望をご相談ください）
技術指導費用	

指導時間	通常費用	北九州市内中小企業
3時間（半日）	20，000円	10，000円
6時間（1日）	40，000円	20，000円

※北九州市からの費用負担については、回数および上限金額の制限があります。
※北九州市内中小企業でない場合、旅費等が必要な場合があります。

【申込・お問合せ先】
北九州マイスター技能伝承倶楽部事務局（北九州イノベーションギャラリー内）
TEL：093－663－5507　FAX：093－663－5508　E-Mail：meister@kigs.jp
《受付時間》9:00～17:00　火曜日～土曜日（祝祭日除く）

KITAKYUSHU MEISTER

北九州マイスターヘルプ　検索

『第10回北九州技の達人』に９名を認定！

北九州市では、長年にわたり技能の研鑽、後進の指導育成に努め、優れた技能で産業振興や市民生活の向上に貢献している技能者を『北九州技の達人』として、２年に１回認定・表彰しています。

平成30年度は下記の９名の方々を認定しました。『北九州技の達人』は、今回の認定者を含め合計76名となります。『北九州技の達人』の皆さんには、次世代を担う若者たちに実演を交えながら、「ものづくりの大切さや面白さ」を伝える技能伝承活動を行っていただいています。

★「第10回北九州技の達人」に認定された方々★

氏 名（五十音順・敬称略）	技能の紹介
技能分野：調理師（日本料理） 緒方（おがた） 弘（ひろし） 田舎庵小倉本店 ３代目店主 	老舗鰻料理店である「田舎庵小倉本店」の三代目店主。 鰻を地焼のみでしっかり焼いて蒸さない、焼くことで凝縮されて味がぐっと濃くなるという独自の蒲焼方法を開発。『鰻にいっぱい火を食べさせる』と表現される独創的で丁寧な手間をかけた調理方法によって、素材が持つ最高の味を引き出している。 また、鰻文化の拡大を志して海外を含めて社会貢献活動を積極的に展開し、イタリアの鰻の特産地であるコマッキオ市で開催されるウナギ祭りに３年連続で参加。日本流の蒲焼の作り方を地元のシェフに伝授し、平成28年にはコマッキオ市から料理親善大使（ウナギ）の称号を授与されている。
技能分野：畳工 小島（こじま） 啓介（けいすけ） ㈲三ヶ森製畳 代表取締役 	18歳からの４年間、京都にある寺院仏閣に使われる紋縁畳、お道具畳を製作する畳匠で修業しつつ、京都畳技術専門学院で技術を磨き、平成６年に京都畳技術競技会最優秀賞（京都府知事賞）を受賞。 寺社仏閣で利用される畳製作ではその繊細さから技能の優劣が出来栄えに大きく関わると言われる中、紋合わせの工程においても手縫いで正確に美しく仕上げる技術を持つ。畳の製作には国産のいぐさを使用し、防カビ剤は使用しないなど材料にもこだわりを持っている。 選定保存技術保存団体「文化財畳保存会」の準会員として、京都府内外の寺院等を中心に活動し、自らの技術向上に励んでいる。
技能分野：造園師 白石（しらいし） 信和（のぶかず） ㈲ 若松緑地建設 代表取締役 	先人たちが築いてきた技術を守りつつ、お客様の具体的なニーズを引き出し新たなアイディアを提案、具現化することによって自らが進化していくことを常に意識して活動している。 造園空間のまとまりや色彩感覚は業界の注目を集め、伝統的日本庭園はもとより、雑木の庭やガーデニングを取入れた現代建築様式にも融合する庭づくりの技法や創造性は高い評価を得ている。 若い技術者に技能五輪や技能検定への参加を促し技術力の向上を図るとともに、県内の短期大学や高等学校での造園技能の実技指導を行っている。平成23年第1回全国造園技能競技大会で特別賞を受賞。
技能分野：ウエイター、ソムリエ 寺井（てらい） 剛史（つよし） OFFICE GO SEE 代表 	全国初の「デリバリーソムリエ」(イベントなどでワインブース、ワインセミナー、ワインゲームなどで盛り上げる出張ソムリエ）として独立。市内で「プレゼントワインショップ®」を経営し、お客様にぴったりの１本を探すサービスのほか、レストランサービスのコンサルティングも行う。 提携レストランで行うデクパージュ（お客様の目の前で料理や果物を切り分ける技術）やフランバージュ（お客様の目の前で料理に火を加えて仕上げる技術）は市内トップレベル。お客様の特別な日を演出するためのコミュニケーション能力にも優れる。 平成27年に第28回全国技能グランプリレストランサービス部門銅賞受賞。

氏 名（五十音順・敬称略）	技能の紹介
技能分野：紋章工芸 にのみや　かずお 二宮　和男 二宮紋章工芸 代表 	着物に紋を入れる紋章工芸職人は減少する一方、その加工工程は、道具の発展に伴う分業化や機械化が進んでいる。その環境変化の中で手書き上絵や手縫い刺繍、柄足しなどの幅広い技術を駆使して全ての工程を一人で担い、伝統工芸技能の伝承に努めている。そのため、紋帳に掲載されていない特殊紋を含むあらゆる紋に対応が可能で、特に紋のサイズが大きく、多様な縫い方、色使いが特徴である加賀紋の製作もできる。また、生地色に最適な配色をするというセンスの良さにも定評がある。 京都など他の地区の呉服店からも紋入れの依頼が相次ぐなど、お客様や業界関係者の信頼も厚い。
技能分野：調理師（寿司） はらだ　こうじ 原田　耕治 幸すし 店主 	寿司一筋に技術の研鑽に励むことに加え、北九州ならではの新鮮な地魚等を活用して「北九州の旬を握る」ことをテーマに地産地消を実践。関門海峡たこや合馬のたけのこ等地元食材を活用した寿司の創作とブランド化にも取り組む。目指すのは「ザ・寿司屋」で、下ごしらえからお客様に提供するまでの全ての工程で基本を守り、手を抜かない。 北九州市すし組合の組合長として長年にわたり後進を指導している。また、北九州市調理師会連合会の運営や北九州市農林水産まつりコンクールの審査員なども務める。さらに、市民に食の重要性を伝える地産地消のイベントや北九州市子ども料理王選手権等にも協力している。
技能分野：菓子製造小売 まるやま　みちかず 丸山　道和 西洋菓子チムチム オーナーシェフ 	フランス国立イッサンジョー高等製菓技術学校講師でパリ・ジャン・ミエ店オーナーシェフであるドゥニ・リュッフェル氏のフランス菓子に魅了され、北九州市でも同シェフから学んだ技術を味わって頂けるよう独創的なアレンジを加えながら、日々お菓子作りに取り組む。 福岡県産ブランドいちじく『とよみつひめ』を使った菓子『とよみつ姫』を考案、開発。福岡県菓子工業組合理事長として地域に根差した活動にも注力。 平成21年に「北九州市菓子組合」を創立し、組合長として活動するとともに、製菓衛生士試験・試験準備講習会や和菓子１級２級技能検定試験準備講習会に参画するなど、組織の強化や後進の育成にも積極的に取り組んでいる。
技能分野：調理師（日本料理） みはら　たけし 三原　毅 真颯館高等学校 教諭 	日本料理の調理技術の研鑽に励むなか、伝統的な日本料理の作法として古来から伝わる包丁道に出会い、精進を重ね、*日本包丁道大草流家元の師範免許皆伝を受け、大草流の技能を伝承していく活動にも積極的に取り組んでいる（*大草流包丁道とは、一切手を触れることなく鯉などを包丁刀と真魚箸（まなはし）で捌き、その切り身を趣向や吉凶などに合わせて置く祈りの儀式）。 現在は市内の高等学校の常勤講師として調理技術の指導、育成を行っているほか、地産地消のイベントへの参画、北九州市料理検定の審査員、北九州市子ども料理王選手権等を通じて市民に食の重要性を伝えている。 平成10年第17回技能グランプリ日本料理職種で第２位入賞。
技能分野：洋裁 もりやま　かずえ 森山　一江 森山ドレスメーカー学院 学院長 	薄くて柔らかい素材の布を使用し優しい雰囲気やおしゃれなデザインを創出し、さらに着心地が良く、いつまでも着ることができる機能性と素材の持つ女性らしさを生かした洋服づくりが特徴的。縫製の難しいリバーシブルの布の特徴を生かした洋服や、代々伝わる和装着物を洋装のドレスやコートにリメイクする独創的な技術も開発。長年培ってきた高度な技術で新たな表現方法を体現し、時代のニーズにマッチしたデザインの洋服づくりを行っている。 平成16年に杉野学園ドレスメーカー学院の認可を受け、森山ドレスメーカー学院を開校し、後進の育成に努めている。平成21年に（社）全日本洋裁協会会長賞を受賞。

【問い合わせ先】北九州市産業経済局雇用政策課　担当：辻井、田口　　TEL：093-582-2419

第12回「北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰」受賞者決定！！

少子高齢化が急速に進むなか、長時間あるいは画一的な労働を前提とした働き方は、様々な課題に直面するようになりました。

本市では、女性の職業生活における活躍や、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業・団体、個人を表彰し、その取組み内容を広く市内企業や市民の皆さまに紹介しています。

この度、第12回の表彰企業等を下記のとおり決定し、北九州市役所内にて表彰状授与式を行いました。

北九州市長と受賞者のみなさま

株式会社 デンソー九州

輸送用機器製造業　八幡西区本城 5-4-1　従業員数：936 人（うち女性 155 人）

「女性活躍推進」から「働き方」意識変革へ！製造業における「誰もが活躍できる働きやすい職場づくり」のモデルケースに！

職域拡大　男性の家庭参画　働き方の見直し

【主な取組内容】

- ガイドブック配布や男性育休取得者の紹介など地道な PR で職場風土を醸成。全国平均(5.14%)を上回る取得率 7.7%を達成
- 育児休業制度を改定し、休業取得開始暦日５日間 100%有給の特別休暇を導入
- 「改善チーム」による改善の見える化、「女性ワーキンググループ」など作業見直し(改善件数 170 超)で作業時間を削減
- 性別でなく個性をみて育成することで、女性の新たな役割へのチャレンジ意欲が向上、女性のいなかった分野への職域拡大
- 定年後の再雇用制度を改定。短日数、短時間勤務などニーズに応じた雇用環境を整備

株式会社 プロデュース

福祉複合サービス業　八幡西区本城東 1-11-27　従業員数：77 人（うち女性 61 人）

自社内にとどまらない人材育成や個別の事情に合わせた働きやすい環境づくりなど、会社経営に地域貢献を融合させた新しい経営スタイルの確立

イクボス　両立支援　働き方の見直し

【主な取組内容】

- 地域人材を活用することで、地域への雇用還元へとつなげるとともに派遣外注費用も削減
- 「子連れ出勤」を認めることで、土日や長期休暇、急な休校などでも社員が安心して仕事に集中できる環境を整備
- 次世代女性リーダー育成のため、社内外の研修に参加させるなど積極的に人材に投資

異島電設株式会社

電気工事業　戸畑区新池 3-3-18　従業員数：16 人（うち女性 4 人）

「当たり前」や「できることから」が自然に根付いた慣行と社内風土が働きやすさと女性の活躍を後押し

職域拡大　両立支援

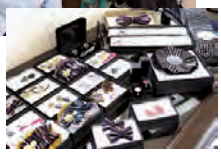
【主な取組内容】

- ２年連続「健康経営優良法人」認定
- 女性役職者の登用で、内勤と現場サイドとのコミュニケーションを活性化
- 男性育児休業の取得や女性電気工事士採用などの実績で、世代間ギャップの強い「働き方」の意識改革を推進

綿瀬 麻意子さん

アクセサリーブランドオーナー　戸畑区

「ライフシフト」で自分らしく紡いでいく人生 100 年時代における女性の生き方、働き方のロールモデル



「Itohen.M」代表。「私が私でいるために何かはじめよう」と抱いた思いが、起業家へ転身させる契機に。専業主婦からの転身という身近さが、自分で自分の人生を選択する人のことを指す「ライフシフター」として、共感を呼んでいる。多くの母親が新しいことに一歩踏み出す際に、子育てとの両立が不安になる中で、働く母の姿が子の就労観や将来に向き合うきっかけとなるなど、認め合える親子関係が築けており、これからライフシフトを目指す人たちへのロールモデルとなりうる。

第 19 回福岡デザインアワード受賞など、起業家としての実力も評価されている。

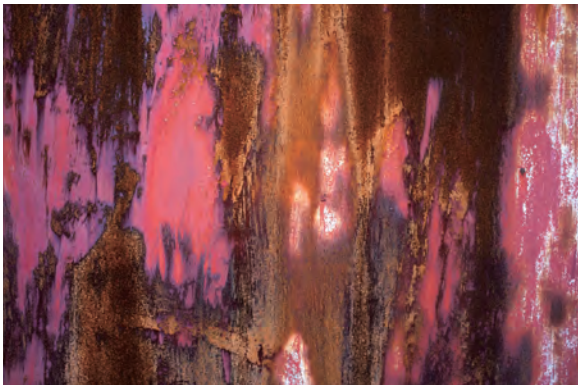
各受賞者の詳細につきましては、HP「はじめよう！ワーク・ライフ・バランス」(http://wlb-kitakyushu.jp/commendation/)をご覧ください。

【問合せ先】北九州市総務局女性活躍推進課　TEL 093-582-2209

（北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会）

表表紙

四宮 佑次　時の肖像#07



時を経て全ての“物”は朽ち果てる。朽ちていく中で素晴らしいディテールを形成する。今回の『時の肖像 #07』はトタン塀である。色、テクスチャー、形、すべてが素晴らしい様相である。いまは廃業している古い旅館のトタン塀、その部分を切り取った一枚である。

裏表紙

四宮 佑次　マグリットに捧ぐ#01

今回の作品は朝倉の北部災害で川の氾濫で流されてきた巨石をモチーフに海の上を飛んできた巨石『飛ぶ岩』で表現した。マグリットの表現を参考に写真で制作しました。災害復興を祈りつつ！

プロフィール

四宮　佑次 氏　（写真　美術家）日本写真家協会会員、日本広告写真家協会会員

1949年　福岡県生まれ
1972年　日本大学芸術学部写真学科卒
1983年　イルフォード（イギリス）作品選出
1984年　ジナー社（スイス）カレンダーに作品選出
1988年　四宮佑次写真展（イタリア光と影）銀座フジフォトサロン
1999~2015年　JAPAN&USA EXCHANGE ART SHOW
1999~2011年　日韓展
2005年　ノルウエー日本文化プロジェクト選出
2007年　ドイツライプチヒJAPANフェスティバル（おはよう日本）選出
2014年　（丘の上の玉手箱）北九州市立美術館フランクステラのドキュメント写真
2015年　四宮佑次写真展　（風に吹かれて）　直方谷尾美術館

著　書

1991年　（器と料理）共著　同朋社出版
1992年　FORTEENTH RED（十四代柿右衛門）ゼネラルアサヒ
1993年　赤い道（画家　乗田貞勝の世界）ゼネラルアサヒ
2006年　（山頭火を行く）ランダムハウス講談社
2009年　（森正洋の全仕事）ランダムハウス講談社
2013年　（京都名建築で食べ歩き）宝島社

etc.

北　中　連　日　誌

（H30. 8. 1～）

年月日	行　事　名	場　所	
H30. 8. 1	まつり起業祭八幡 実行委員会	八幡東区	レインボープラザ
8. 8	県中央会 理事会	福岡市博多区	中小企業振興センター
8. 20	北九州市市民暴力追放総決起大会	小倉北区	北九州メディアドーム
8. 23	第２回エコアクション 21　地域運営委員会	戸畑区	北九州テクノセンター
8. 24	第31回成長戦略フォーラム「北九州市の成長戦略を考える」	小倉北区	リーガロイヤルホテル小倉
8. 30	中小機構との打ち合わせ	東京都	中小企業基盤整備機構
9. 5	工団連 中国、四国ブロック総会	鳥取県米子市	ANA クラウンプラザホテル米子
9. 10	福機連会議	小倉北区	市立商工貿易会館
9. 11	市商連 役員･販促合同会議	〃	〃
9. 12	第70回中小企業団体全国大会	京都市	西陣織会館
9. 27	正副会長会･第４回理事会	小倉北区	市立商工貿易会館
10. 9	市制55周年記念 安全･安心まちづくり市民大会	〃	北九州芸術劇場 大ホール
10. 19	福岡県立小倉高等技術専門校 運営協議会	小倉南区	小倉高等技術専門校
10. 24	元気出せ !! IZUTSUYA	小倉北区	小倉井筒屋パステルホール
10. 26	福岡県立戸畑高等技術専門校 運営協議会	戸畑区	戸畑高等技術専門校
11. 3	まつり起業祭八幡 開会式	八幡東区	大谷会館南側メインステージ
11. 8	市商連 公明党議員団政策懇談会	小倉北区	リーガロイヤルホテル小倉
11. 14	北九州地区組合事務局担当者研修会	〃	ホテルクラウンパレス小倉
11. 15	北金会 講演会	〃	ステーションホテル小倉
11. 19 ～ 20	福機連 先進企業視察	岡山県	㈱英田エンジニアリング、㈱アステア
11. 22	北九州市に対する 31年度要望書の提出	小倉北区	市庁舎
〃	北中連 監査会	〃	北中連事務所
11. 28	福岡県に対する 31年度要望書の提出	福岡市博多区	福岡県庁
12. 14	第５回理事会	小倉北区	稚加榮

会　員　名　簿

（H30.11．1現在）

1号会員

No.	企業名(団体名)	〒	所　在　地	TEL
1	北九州スポーツ用品(協)	809-0036	中間市長津1-12-3　堀田スポーツ内	245-0246
2	新門司工業団地(協)	800-0115	門司区新門司3丁目67-60	483-1111
3	(協)大里商店連合会	800-0025	門司区柳町1丁目5-26	381-0248
4	東門司商店街(協)	801-0873	門司区東門司1丁目12-31	332-7277
5	魚町一丁目商店街(振)	802-0006	小倉北区魚町1丁目1-15　3F	551-4828
6	魚町サンロード商店街(協)	802-0006	小倉北区魚町3丁目3-20	531-0331
7	魚町商店街(振)	802-0006	小倉北区魚町3丁目1-15	521-6801
8	北九州広域生コンクリート(協)	802-0001	小倉北区浅野2丁目6-16　マルサンビル2F	511-6699
9	北九州市防水工事業(協)	802-0082	小倉北区古船場町4-17　近藤ビル2F	531-4607
10	北九州中小商工業者(協)	802-0065	小倉北区三萩野2丁目3-5　民商会館内	921-6981
11	北九州ビルメンテナンス(協)	802-0081	小倉北区紺屋町4-6　北九州第一ビル	531-3288
12	黄金商店街(協)	802-0071	小倉北区黄金１丁目1-23　2F	941-9182
13	小倉魚町二番街(協)	802-0006	小倉北区魚町2-1-7　松永ビル6F　㈱マチクラ内	
14	小倉駅前商店街(協)	802-0002	小倉北区京町2-7-18　ISビル3F	522-0148
15	小倉機器工業(協)	802-0011	小倉北区重住3丁目4-25　㈱九州発条内	931-0484
16	小倉中央銀座商店街(協)	802-0006	小倉北区魚町1丁目2-5	531-6785
17	戸畑貨物センター (協)	803-0801	小倉北区西港町92-6	571-4337
18	(協)日専連北九州	802-0005	小倉北区堺町1丁目6番15号　日専連ビル9F	521-7550
19	毎日新聞西部販売店(協)	802-8651	小倉北区紺屋町13-1	541-3274
20	(協)北九州イベントスタッフ協会	800-0241	小倉南区長野本町3丁目10-1	474-1099
21	北九州エルピーガス事業(協)	802-0978	小倉南区蒲生1-1-26-3F LPガス会館内	962-6803
22	北九州工業団地(協)	800-0211	小倉南区新曽根8-39	471-7159
23	キック(協)	800-0221	小倉南区下曽根新町13-1　㈱リードヘルスケア内	473-0355
24	小倉鉄工団地(協)	803-0185	小倉南区石原町175番地	451-0150
25	新日本設備工業(協)	803-0185	小倉南区大字石原町 小倉鉄工団地内　日田建工㈱内	452-3835
26	東小倉工業団地(協)	800-0211	小倉南区新曽根3-7	473-4010
27	北九州運輸(協)	805-0061	八幡東区西本町1丁目3-18	671-1991
28	九築工業(協)	805-0017	八幡東区山王1丁目9-10　経理課	671-1635
29	共栄開発(協)	805-0019	八幡東区中央2丁目24-5　㈱芳賀内	671-1316
30	ジェーイーシー (協)	805-0019	八幡東区中央3丁目2-20　エルゼ内	681-1233
31	八幡祇園町銀天街(協)	805-0067	八幡東区祇園2丁目7-5	671-3758
32	八幡中央区商店街(協)	805-0019	八幡東区中央2丁目16-10	671-4340
33	八幡電気工事業(協)	805-0061	八幡東区西本町1-11-3　北鐵ビル2F	681-7572
34	(協)安協会	806-0011	八幡西区紅梅3丁目1-21	631-3711
35	(協)折尾商連	807-0825	八幡西区折尾3丁目1-32	691-1462

No.	企業名(団体名)	〒	所　在　地	TEL
36	(協)北九州トヨタグループ	806-0041	八幡西区皇后崎町14-6	642-2111
37	黒崎駅前新天街(協)	806-0021	八幡西区黒崎2丁目7-16	
38	三ヶ森商店街(振)	807-0843	八幡西区三ヶ森3丁目10-18	612-2261
39	西部興産グループ事業(協)	806-0064	八幡西区割子川1丁目17-32	613-1115
40	萩原・青山商店街(協)	806-0059	八幡西区萩原1丁目7-10	621-5416
41	九州ツバメ石油(協)	804-0077	戸畑区牧山海岸4-48	871-1330
42	(協)くすりの九友会	804-0091	戸畑区三六町14-12	871-0661
43	清掃美化(協)	804-0021	戸畑区一枝3丁目6-12	883-1552
44	(協)テクノタウン戸畑	804-0077	戸畑区牧山海岸2-26	871-2738
45	天神商店街(振)	804-0094	戸畑区天神2丁目5-4	882-8488
46	西日本砂、砂利採取販売(協)	804-0075	戸畑区北鳥旗町2-15　KSKビル	871-2701
47	戸畑新工業団地(協)	804-0077	戸畑区牧山海岸3-10	861-1170
48	北九州遠賀葬祭業(協)	808-0024	若松区浜町2丁目3-28　㈱光善社内	761-2559
49	北九州塗装(協)	808-0109	若松区南二島2丁目17-18	701-2300
50	北九洲包装函(協)	808-0021	若松区響町1丁目88-11　山本段ボール㈱内	751-0200
51	響工業団地(協)	808-0022	若松区大字安瀬1番地25	751-4561
52	北九州西部青果(協)	809-0001	中間市大字垣生字東七反田1500	243-5177
53	第一物流センター (協)	811-4311	遠賀郡遠賀町大字老良365-1	293-3270
54	中間市管工事(協)	809-0034	中間市中間1丁目6-1	245-0077
55	中間市建設(協)	809-0034	中間市中間1丁目6-5	245-1787
56	築上西部液化ガス事業(協)	829-0313	福岡県築上郡築上町有安179番地	0930-56-0183

２号会員

No.	企業名(団体名)	〒	所　　在　　地	ＴＥＬ
1	福岡ひびき信用金庫	805-0059	八幡東区尾倉2丁目8番１号	661-2311
2	(株)オフィスソリュ―ションズ北九州	803-0831	小倉北区日明3丁目6-20	591-2711
3	(株)カンペックス	807-0821	八幡西区陣原1丁目15-15	643-6065
4	(有)フジプロダクション	802-0064	小倉北区片野1丁目13-1-202	922-3191
5	よしみ工産(株)	804-0094	戸畑区天神1丁目13-5	882-1661
6	北九州高齢者能力活用協議会	804-0067	戸畑区汐井町1-6　ウェルとばた8F	881-6699
7	(株)アクシス	807-0822	八幡西区瀬板1丁目16-1	603-8711
8	(株)せいぜん葬儀誠善社	803-0861	小倉北区篠崎1丁目6-2	571-9999
9	社会福祉法人 福岡コロニー	811-0119	糟屋郡新宮町緑ケ浜１丁目11番1号	092-962-0764
10	北九州商工会議所	802-8522	小倉北区紺屋町13-1	541-0181
11	(公社)九州機械工業振興会	804-0003	戸畑区中原新町1-1	861-3001
12	福岡県機械金属工業連合会　北九州支部	803-0801	小倉北区古船場町1-35　商工貿易会館7Ｆ　北中連内	531-0127
13	北九州市商業総連合会	803-0801	小倉北区古船場町1-35　商工貿易会館7Ｆ　北中連内	531-0127
14	(株)総合システム	807-0804	八幡西区医生ヶ丘3-5	603-7174
15	西日本産業(株)	804-0041	戸畑区天籟寺1丁目6番17-1	883-1281
16	(株)メイケン九州	803-0826	小倉北区高峰町4-11	582-4588
17	明光運輸(株)	804-0094	戸畑区天神2丁目2-27	871-5690
18	(株)フジコー	804-0011	戸畑区中原西2丁目18-12	871-3724
19	(株)測　研	804-0013	戸畑区境川2丁目4-5	883-1511
20	(株)ケィ・ビー・エス	802-0014	小倉北区砂津1丁目2-13	522-0096
21	(株)大分銀行　小倉支店	802-0003	小倉北区米町1丁目1番21号	521-8336
22	(株)西日本シティ銀行北九州総本部	802-0004	小倉北区鍛冶町1-5-1	511-0926
23	(株)井上産商	804-0092	戸畑区小芝3丁目8番22号	882-2881
24	(株)山本工作所	805-8514	八幡東区大字枝光1950番地の10	681-0378
25	清新産業(株)	805-0017	八幡東区山王１丁目16-8	661-4635
26	丸正鋼材(株)	808-0109	若松区南二島２丁目2-22	791-5133
27	(株)千　草	805-0061	八幡東区西本町1丁目1番1号	671-1131
28	九州電力(株)北九州支社	802-8521	小倉北区米町2丁目3番1号	531-1180
29	北九州エアターミナル(株)	800-0306	小倉南区空港北町6番	475-4195
30	(株)Ｃ＆Ｇシステムズ	806-0067	八幡西区引野1-5-15	642-4541
31	ＴＯＴＯ(株)	802-8601	小倉北区中島2丁目1番1号	951-2052
32	戸畑港運輸(株)	804-0071	戸畑区川代2丁目4番1号	871-1721
33	(株)ゼンリン	804-0003	戸畑区中原新町3-1	882-9050
34	(株)芳　賀	805-0019	八幡東区中央2丁目24番5	671-1316
35	竹原運送(株)	804-0066	戸畑区初音町13番32号	871-3228
36	(株)ギラヴァンツ北九州	802-0001	小倉北区浅野3-1-26　あべりあ浅野ビル	863-6777
37	(株)豊川設計事務所	803-0835	小倉北区井堀3-18-18　Casa Foresta 1F	581-7082
38	(株)安川電機	806-0004	八幡西区黒崎城石2番1号	645-8801
39	(株)タカギ	802-8540	小倉南区石田南2丁目4-1	962-0941
40	西部ガス(株)	803-8666	小倉北区愛宕1丁目5番10号	591-6600
41	(公財) 産業雇用安定センター　北九州駐在事務所	802-0004	小倉北区鍛冶町1-10-10　大同生命北九州ビル7階	531-7806

迎　春

福岡県中小企業団体中央会

会　長　桑　野　龍　一

副会長　自見　榮祐　　副会長　武内　照臣
〃　花元　英彰　　〃　重松　和馬
〃　寺嶋　貞夫　　〃　深田　康氏
〃　忍田　勉　　専務理事　才所　稔
外　役職員一同

本　　所　〒812-0046　福岡市博多区吉塚本町９番15号
福岡県中小企業振興センター９階
TEL092-622-8780　FAX092-622-6884
http://www.chuokai-fukuoka.or.jp/

北九州支所　〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町１番35号
北九州市立商工貿易会館６階
TEL093-531-0181　FAX093-531-0469
E-Mail:kokura@chuokai-fukuoka.or.jp

一般社団法人 福岡県機械金属工業連合会

会　長　松本　和朗　　副会長　吉田　祐司
副会長　自見　榮祐　　〃　才所　稔
〃　鐘川邦次朗　　常務理事　福島　望
他 役員一同

〒812-0046
福岡市博多区吉塚本町９番15号
福岡県中小企業振興センタービル 11F 115号室
電話 092-612-5155　FAX 092-612-5178
E-mail : info@fukukiren-monodzukuri.jp
URL : http://www.fukukiren-monodzukuri.jp

小倉南区新曽根八番三九号
電話　四七一―七一五九
FAX　四七一―七一七一

北九州工業団地協同組合

代表理事　安田　敏剛

小倉北区紺屋町四番六号
電話　五三一―三二八八
FAX　五三一―三二五五

北九州ビルメンテナンス協同組合

代表理事　渡辺　敏也

小倉北区魚町三丁目一番十五号
電話　五二一―六八〇一
FAX　五二一―六八〇九

魚町商店街振興組合

代表理事　梯　輝元

門司区新門司三丁目六七番地の六〇
電話　四八三―一一一一
FAX　四八三―一一一二

新門司工業団地協同組合

代表理事　白石　正浩

小倉南区新曽根三番七号
電話・FAX　四七三―四〇一〇

東小倉工業団地協同組合

代表理事　山岡　義昭

小倉北区魚町一丁目二番五号
電話　五三一―六七八五
FAX　五三一―六七八六

花いっぱい　ちゅうぎん通り

小倉中央銀座商店街協同組合

理事長　井上　弘

小倉北区重住三丁目四番二十五号
㈱九州発条内
電話　九三一―〇四八四
FAX　九三一―〇四八五

小倉機器工業協同組合

理事長　安心院　武彦

小倉北区京町二丁目七番十八号　ISビル３F
電話　五二二―〇一四八

小倉駅前商店街協同組合

理事長　杉岡　密雄

迎　春

北九州塗装協同組合

理事長　志　水　雅　弘

他　　組合員一同

〒808-0109　北九州市若松区南二島二丁目17番18号
電 話 093-701-2300
FAX 093-791-3997
［URL］　http://www.kita-pc.com
E-mail:k-toso-k@circus.ocn.ne.jp
E-mail:ccg000242686@kaw.bbiq.jp

北九州市防水工事業協同組合

理事長　月　形　孝　司

〒 802-0082
北九州市小倉北区古船場町 4-17　近藤ビル２Ｆ
TEL（093）531-4607　FAX（093）531-4609
E-mail:kitakiyu.bou@train.ocn.ne.jp

八幡東区西本町一丁目十一番三号
電　話　六八一―七五七二
ＦＡＸ　六八一―五一二〇

八幡電気工事業協同組合

理事長　樋　口　和　宏

小倉南区大字石原町一七五番地
電　話　四五一―〇一五〇
ＦＡＸ　四五一―〇一五二

小倉鉄工団地協同組合

代表理事　鍋　屋　秀　一

小倉北区魚町三丁目三番二〇号
電　話　五三一―〇三三一
ＦＡＸ　五二一―三九三九
http://www.uo-sun.or.jp/

魚町サンロード商店街協同組合

代表理事　梯　輝　元

小倉北区魚町二丁目一番七号

小倉魚町二番街協同組合

理事長　野　﨑　龍　之

戸畑区牧山海岸二番二十六号
電　話　八七一―二七三八
ＦＡＸ　八七一―二七三九

協同組合テクノタウン戸畑

理事長　白　石　春　利

戸畑区三六町十四番十二号
電　話　八七一―〇六六一
ＦＡＸ　八八二―二〇〇二

協同組合くすりの九友会

理事長　芳　野　直　人

戸畑区牧山海岸三番十号
電　話　八六一―一一七〇
ＦＡＸ　八七一―五一一六

戸畑新工業団地協同組合

代表理事　西　竹　浩　一

八幡西区萩原一丁目七番十号
電　話　六二一―五四一六

萩原・青山商店街協同組合

理事長　岩　男　平八郎

迎　春

地域に貢献する

協同組合日専連北九州

理事長　中野　新司　　副理事長　瀬口　裕章
副理事長　岩本　浩一　　常任理事　禱　峰晴
外組合員・事務局一同

〒802-0005　北九州市小倉北区堺町１丁目６番15号
TEL 093-521-7550　FAX 093-521-7551
E-mail:nissenren-kitakyusyu@gaea.ocn.ne.jp
http://www.nsr-kitaq.net

小倉北区古船場町一番三五号
北九州市立商工貿易会館六階
電話　五三一―〇一八一

北九州地区商店街連合会

役員一同

小倉北区古船場町一番三五号
北九州市立商工貿易会館六階
電話　五三一―〇一八一

福岡県中小企業団体中央会
青年部連絡協議会

会長　松田敏秀

戸畑貨物センター協同組合

代表理事　竹原健次

〒803-0801
北九州市小倉北区西港町92－６
TEL 093-571-4337
FAX 093-571-4339

西日本産業株式会社

代表取締役　麻生重樹

〒804-0041
北九州市戸畑区天籟寺1－6－17－1号
TEL 093-883-1281
FAX 093-881-1696

北九州市戸畑区一枝三丁目六番一二号
電話　八八三―一五五二
FAX　八七一―〇二三三

清掃美化協同組合

代表理事　橋本耕治

築上郡築上町大字有安一七九番地
電話　〇九三〇―五六―〇一八三
FAX　〇九三〇―五六―五五一三

築上西部液化ガス事業協同組合

理事長　北川靖雄

中間市中間一丁目六番五号
電話　二四五―一七八七

中間市建設協同組合

理事長　黒瀬剛
外組合員一同

中間市大字垣生字東七反田一五〇〇
電話　二四三―五一七七
FAX　二四三―五一七八

北九州西部青果協同組合

理事長　花田一美

迎　春

幸せは、駅の上に。

◆ご宴会　◆お食事
◆ご婚礼　◆ご宿泊

STATION HOTEL KOKURA　ステーションホテル小倉

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-1-1　TEL 093-541-7111(代)

株式会社ケィ・ビー・エス
代表取締役　安　部　高　子
KBS　総合人材サービス
KYUSHU BUSINESS SOLUTIONS
URL:http://kbs-group.co.jp/
〒802-0014
北九州市小倉北区砂津１丁目２番13号
TEL 093-522-0096
FAX 093-551-2342

リコー特約店　防犯・防災システム構築
スチール家具オフィス用品・各社取扱い
株式会社
オフィスソリューションズ北九州
代表取締役　木　下　健　治
〒803-0831 北九州市小倉北区日明3丁目6番20号
電　話 093-591-2711
FAX 093-591-2712
www.office-sk.co.jp/　検索

新しい空、　新しい私。
北九州空港
KITAKYUSHU AIRPORT
早朝から深夜まで
東京(羽田)線, 名古屋(小牧)線, 沖縄(那覇)線[冬季]
中国(大連)線, 韓国(釜山・仁川・襄陽・務安)線, 台湾(台北)線
運航中！
北九州エアターミナル株式会社
〒800-0306 北九州市小倉南区空港北町6番
Tel.093-475-4195　Fax.093-475-1304
http://www.kitakyu-air.co.jp/

台風による竜巻・突風で起こる風災害、
ゲリラ豪雨による洪水、土砂崩れで起こる水災害。
被害に遭う前にきちんとした備えを。
現在ご加入の契約内容の見直しに『火災共済』をぜひご利用下さい。

福岡県火災共済協同組合
福岡市博多区吉塚本町９-15
福岡県中小企業振興センター８階
TEL:092-622-8071　FAX:092-622-8838
URL:http://www.fkyosai.com/

迎　春

確かな技術力で地域産業の
育成・支援を続ける九機振

KS 公益社団法人 九州機械工業振興会
Promote Association of Machine Industry,Kyushu.

教育研修
クレーン運転士実技教習、玉掛け技能講習、
床上操作式クレーン運転技能講習、
非破壊技術者資格講習会、研修室の開放利用

材料試験
引張試験、曲げ試験、圧縮試験、硬さ試験、
コンクリート圧縮試験、フィルム（ごみ袋等）試験

機械加工
精密機械による加工、各種機械の開放利用
（ジグボーラー、大型平面研削盤、ガンドリル）

〒804-0003
北九州市戸畑区中原新町１番１号
TEL：０９３－８６１－３００１
FAX：０９３－８６１－３００７
HP：http://www.kyukishin.or.jp/
E-MAIL：kksinfo@kyukishin.or.jp

事業所・工場清掃
事業所の負担は従事者
一人当たり８９５円／時間～

公益社団法人 北九州市 シルバー人材センター
http://www.kitakyusilver.jp （法律に基づく「公益法人」です。）

TEL　９２２－４８０１
＊詳細は、お問い合わせください。
北九州市小倉北区片野新町 1-1-6
http://www.kitakyusilver.jp/

YOSHIMI
KOHSAN CORPORATION

印刷のことならよしみ工産に
お任せ下さい!

企画、制作から印刷までを手がける経験豊富な実績で
お客様に満足をご提供いたします!

総合印刷　よしみ工産株式会社

本　　社　〒804-0094　北九州市戸畑区天神１丁目13-5　TEL 093-882-1661㈹
福岡営業所　〒812-0011　福岡市博多区博多駅前１丁目23-28　TEL 092-481-9559㈹
東京事務所　〒113-0033　東京都文京区本郷３丁目26-1　本郷宮田ビル３階　TEL 03-5802-5601㈹

これまでも、この先も、あなたと創る、この街を

あなたと共感、ハーモニー・バンク
福岡ひびき信用金庫

携帯・スマートフォンの方はQRコードを！
情報満載、ホームページをご覧ください。
ひびしん　検索
http://www.fukuokahibiki.co.jp/

迎　春

福岡県機械金属工業連合会北九州支部

支部長　自　見　榮　祐

〒802-0082 北九州市小倉北区古船場町1番35号
市立商工貿易会館７階北中連内
TEL093-531-0127　　FAX093-531-0399

清 新 産 業 株 式 会 社

代表取締役　吉　森　恵　一

〒805-0017 北九州市八幡東区山王1丁目16番８号
TEL093-661-4635　　FAX093-661-3399

北九州市商業総連合会

〒802-0082 北九州市小倉北区古船場町1-35
市立商工貿易会館７階北中連内

TEL 093-531-0127　FAX 093-531-0399

北中連組合事務局協議会

代表幹事　自　見　政　芳

〒802-0082 北九州市小倉北区古船場町1-35
市立商工貿易会館７階北中連内

TEL　093-531-0127

迎　春

毎日が、「ちょっとエコ」

蛇口一体型浄水器
みず工房 エコシリーズ

■エコシャワーで節水

■自動クリーニングでカートリッジの目詰まりを防いで長持ち〔特許〕
■6通りの切り替えがワンタッチでOK〔特許〕
■殺菌セラミックが浄水器内の雑菌増殖を抑えるから安心
■大きなお鍋やポットにもらくらく注げる
■蛇口一体型の構造で、シンクまわりがスッキリひろびろ
■浄水器ごとホースが引き出せて、シンクの隅々までお掃除らくらく

お問い合わせ・申し込みは…【24時間電話受付、年中無休】
タカギ・コミュニケーションセンター　ミズは よい水
通話料無料 0120-328-413

株式会社 タカギ
〒802-8540
北九州市小倉南区石田南2丁目4-1
http://www.takagi.co.jp/

株式会社 豊川設計事務所
TOYOKAWA ARCHITECTS & ASSOCIATES

〒803-0835　北九州市小倉北区井堀 3-18-18-1F
Tel : 093-581-7082　Fax : 093-561-1579
H.P address : www.toyokawa-aa.com

みなさまの明日を
バックアップします。

福岡県信用保証協会　北九州支所

〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町１番35号
北九州市立商工貿易会館
電　話　093-551-2631
ＦＡＸ　093-522-4754
ホームページ　http://www.fukuoka-cgc.or.jp/

FUKUOKA GUARANTEE

迎　春

商工中金は、国とともに、
中小企業をサポートする金融機関です。

特長その1　長期的な視点で安定したお取引

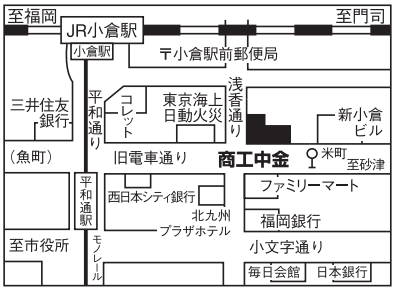
特長その2　中小企業の経営課題に対応する総合的な支援

特長その3　全国と海外のネットワークでビジネスをサポート

特長その4　協調と連携で地域経済の活性化の力に

商工中金

北九州支店 093(533)9567
〒802-0003 北九州市小倉北区米町2-1-2



個人のお客さま向けの定期預金です。
高めの金利設定(当金庫内比較)
固定金利の半年複利(元本保証)
1年、2年、3年から期間が選べる
＼ 安心、確実、お得に増やす ／
定期預金 マイハーベスト

福岡県領収証紙の販売

平成30年６月より福岡県領収証紙を販売しておりますのでお知らせ致します。

一般社団法人 北九州中小企業団体連合会
事　務　局

TEL 093-531-0127　FAX 093-531-0399

迎　春

響工業団地協同組合

代表理事　自　見　榮　祐

〒808-0022　北九州市若松区大字安瀬１番地25

電　話　093-751-4561

ＦＡＸ　093-751-4565

北九州市
認知症疾患医療センター指定

たつのおとしご
クリニック

内科・神経内科
（ものわすれ外来）
リハビリテーション科
診療時間：月～金
午前　9:00～12:00
午後　14:00～17:30

合計32事業展開

介護と医療の総合デパート

特定社会福祉法人
年長者の里
理事長
芳賀　晟壽

【本部】〒805-0048
北九州市八幡東区大蔵３丁目 2-1
TEL:093-652-3939 / FAX:652-3999
URL：http://n-sato.com

会員加入のご案内

本連合会では、時代や経済の変化とともに会員規定を見直し、従来の正会員（協同組合等）を「１号会員」とし、賛助会員のうち法人や法人を構成員とする団体を「２号会員」として、本連合会の運営に参画いただき、幅広い意見等を取入れ組織の活性化と拡大を図っています。

つきましては、本連合会の概要と趣旨をご理解のうえ、積極的にご加入いただきますようご案内申し上げます。

記

１　加　入　方　法　下記申込書にご記入のうえ、切り離してご投函ください

２　会　　費　「１号会員」　出資金による差等割

「２号会員」及び「賛助会員」　年額　10,000円

※ご加入後に会費の請求をさせていただきます。

３　事業の利用料　（１）会が主催する講演会、講習会、研究会等は無料

但し、懇親会等は実費を負担願います。

（２）FAX通信及びホームページ利用は事前に事務局へご相談ください。

郵便はがき

〒802-8790

（受取人）

北九州市小倉北区古船場町一一三五

市立商工貿易会館　七階

一般社団法人 北九州中小企業団体連合会 行

（☎五三一一〇一一七）

料金受取人払郵便

北九州中央局
承認
4495

差出有効期間
平成31年12月
31日まで
★切手不要

一般社団法人　北九州中小企業団体連合会　概要

1　沿　　革

昭和29年９月21日　任意団体北九州中小企業団体連合会として発足
昭和43年12月５日　北九州中小企業協同組合連合会として法人化
昭和50年８月22日　社団法人北九州中小企業団体連合会に組織変更
平成25年４月１日　一般社団法人北九州中小企業団体連合会に組織変更

2　事　　業

主に、講演会、シンポジウムの開催や会報の発行及び国、県、市などの中小企業施策や研修会、講習会等をFAXにより情報提供を行なっています。

また、工業部会、商業部会、建設関連業部会、サービス業その他業種部会の４部会及び金融税制委員会、情報委員会の２委員会を設置しており、各業界や業種の状況を把握し、県や市に対する意見や要望を集約して、毎年、建議・陳情を行なっています。

3　会員資格

「１号会員」北九州市、行橋市、豊前市、中間市、京都郡、築上郡、及び遠賀郡に事務所を有する中小企業等協同組合、商店街振興組合、商工組合及び協業組合
「２号会員」本法人の目的に賛同し、その事業に協力しようとする法人並びにこれらの者を構成員とする団体
「賛助会員」本法人の目的に賛同し、その事業に協力しようとする個人

令和　　年　　月　　日

一般社団法人　北九州中小企業団体連合会
会長　自見榮祐　殿

住　　所
企業(団体)名
代表者名　　㊞

会員加入申込書

1　業務内容
2　資本金（出資金／総額）　　万円
3　従業員数　　男性　　名、女性　　名、合計　　名
4　実務担当者名
5　連絡先　　TEL
　　FAX
6　郵便番号

迎　春

http://www.fukuoka-colony.net

印刷全般・さをり織り・製麺（冷凍うどん）

ポスター　チラシ　パンフレット　リーフレット　カタログ
ダイレクトメール　自費出版　広報誌　機関誌　書籍　文集
詩歌集　各種マニュアル　会議資料　帳簿　封筒　　etc.

fukuoka colony　社会福祉法人　福岡コロニー
コロニー印刷

本部・工場　〒811-0119　福岡県糟屋郡新宮町緑ケ浜一丁目11番1号
TEL.(092)962-0764　FAX.(092)962-0768

南福岡営業所　〒816-0934 大野城市曙町二丁目4-18
（福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園）
TEL.(092)501-7405　FAX.(092)501-7425

博多営業所　〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
中小企業振興センタービル1階
TEL.(092)611-2341　FAX.(092)501-7425

古賀営業所　〒811-3115 古賀市久保1343-3
TEL.(092)944-4422　FAX.(092)944-4071

なのみの里　〒811-3115 古賀市久保1343-3
TEL.(092)944-4308　FAX.(092)944-4309

なのみ工芸　TEL.(092)944-4419　FAX.(092)944-4071

・障害者支援施設　福岡コロニー
・障害福祉サービス事業所　わーくはうすコロニー
・障害福祉サービス事業所　福岡福祉工場
・障害者支援施設　福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園
・障害福祉サービス事業所　なのみ工芸
・障害者支援施設　なのみの里
・古賀市障害者生活支援センター　咲
・障害者就業・生活支援センター　ちどり
・共同生活援助事業所　グループホームかづるⅠ・Ⅱ
・相談支援事業所　福岡コロニー

中小企業団体の歌

高原泰助　作詞
飯田信夫　作曲

一
国の礎（いしづえ）　中小企業
精神（こころ）は一つ　団結の
固き盟（ちかい）に　結ばれて
希望に燃（も）ゆる　この組織
ああ組合の　大使命

二
ともに手をとり　足並揃え
励みは楽し　団結の
強き力に　護（まも）られて
荊棘（いばら）の道を　切り開く
ああ組合の　大事業

三
相互扶助こそ　われらの誇り
やがては築く　団結の
高き功（いさお）に　輝きて
栄える店に　工場に
ああ組合の　大理想

中小企業の団結と地域の活性化を目指す

北中連だより　平成31年1月31日発行　2019年新春号　通巻129号

発行人　自見榮祐
編集人　樽見明敏
発行所　一般社団法人　北九州中小企業団体連合会
Kitakyushu Small & Medium Sized Businesses Organization
〒802-0082　北九州市小倉北区古船場町1-35
北九州市立商工貿易会館7階
Tel.093(531)0127 Fax.093(531)0399
http://www.hokuchu.or.jp/
印刷所　社会福祉法人　福岡コロニー

四宮　佑次　『マグリットに捧ぐ#01』